

大きく、膨れて居る。頭胴長一一五—一三〇、尾長九五—一一〇、後足長二九—三四、耳長一三一—一五耗位。内蒙一面に分布し、大アルタイの北方を西に外蒙西境まで分布して居る。カンシユクスナネズミ (*M. tamaricinus satschouensis* Satunin) は頭骨全長が四二耗といへば随分大きなもので、頭胴長も一五〇耗以上である。之れの種類はロシアの裏海地方に産するものであるのに、その變種が甘肅省の西部まで来て居るのは面白い事だが、一疋採れただけである。

オホスナネズミ (*Rhombomys opinum nigrescens* Satunin) も大きなもので、頭胴長一六〇—一七〇、尾長一三〇—一六〇、後足長四二—四七、耳長一一—一四耗位。背は赭黄色で、尾の端は黒味がかつた房をなし、腹は帶黄赭の白。第三上臼齒が8字形である點に於て上述の諸種と屬を別とされるものである。寧夏省のアラシヤン邊から北方にゴビ沙漠に分布する。

コミミスナネズミ (*Brachiones przewalskii calichrous* Heptner) は體も小さく、耳が殊に小さく、尾の端も毛房がなくてちよびんとして居るし、前肢の爪がやゝ大きいなど、地下に棲む者の形態を示して居る。背面黄灰色、尾白、腹面は純白である。

る。頭胴長八六・二、尾長七七・六、後足長二三・九、耳長九耗位。ゴビ沙漠の西南部から採られたものだけである。

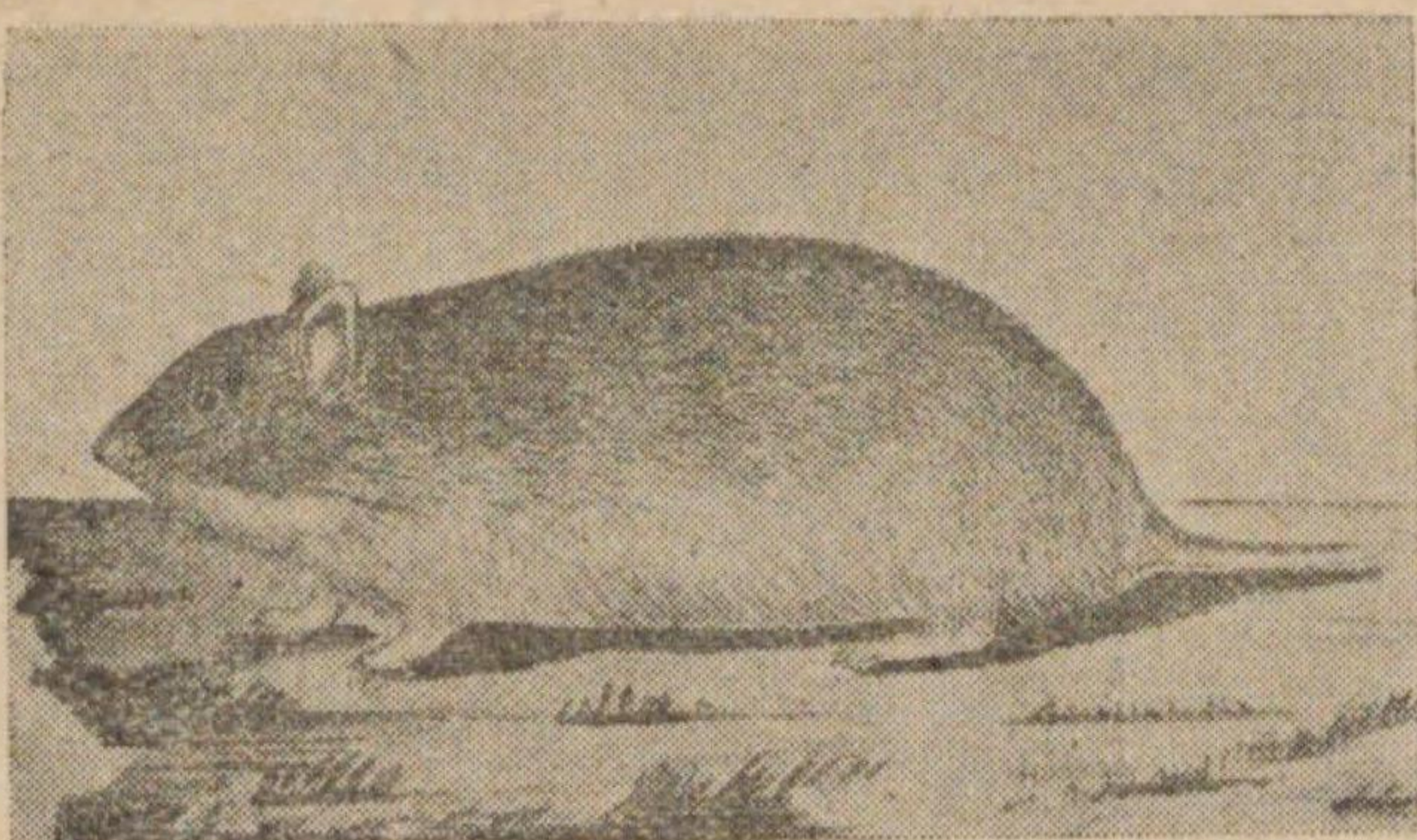
### 3、絹毛鼠亞科

此の亞科の鼠は、臼齒が有根齒で、齒冠に内外二列の疣狀突起を有するもので、北米には五百種以上も有つて舊大陸の鼠亞科を代表して居る様なものだが、東半球には少數の種類きりない。日本には北朝鮮に一種知られただけだが、支那には流石に四屬九種十數亞種を産する。絹毛鼠といふ和名は毛が軟かで細くて絹を連想させるから出たのであるが、黒熱病(カラアザール)を人に媒介するのは之等の鼠の寄生節足虫類ではないかといふ疑ひをかけられて居る。

ナンマンセスデキヌゲネズミ (*Cricetulus barabensis griseus* M.-E.) は短尾で、淡赭色で背筋に黒線が縦走して居る。頭胴長九二—九六、尾長二五—二八、後足長一五—一六、耳長一四—一五耗位で、南滿、熱河、河北省、北京附近の産。之れのオリブ灰色の近似變種ホクマンセスデキヌゲネズミ (*C. b. fumatus* Thomas) が熱河省北部及滿洲に産する。又セスデキヌゲネズミ (*C. b. obscurus* M.-E.) は背筋の黒



條以外の背面が淡くて鈍黄色な變種で、山西省北部や蒙古のゴビ沙漠、熱河北部、ホロンバイルに産する。ハイバラキヌゲネズミ (*C. migratorius griseiventris* Satu



第六十七圖 ホクマンセスデキヌゲネズミ

mi.) は背筋に黒線なく、背は淡灰色、腹面は帯灰色で、喉と鼠蹊部とは純白である。頭胴長一二〇、尾長二七、後足長一六耗位。ゴビのアルタイ山の産。ヲナガキヌゲネズミ (*C. longicaudatus longicaudatus* M. F.) は此の類としては長尾といへるが、後足長の二倍位で、體長よりは可なり短い。體背暗黄色で黒條なく、腹面は一面に帯灰色である。頭胴長八四—一〇〇、尾長二七—四一、後足長一五—一八、耳長一六—二〇耗位。山西省及び蒙古産。ヲナガクロキヌゲネズミ (*C. l. nigrescens* Allen) は背筋の邊が黒い變種で、河北省から熱河省にかけて産する。

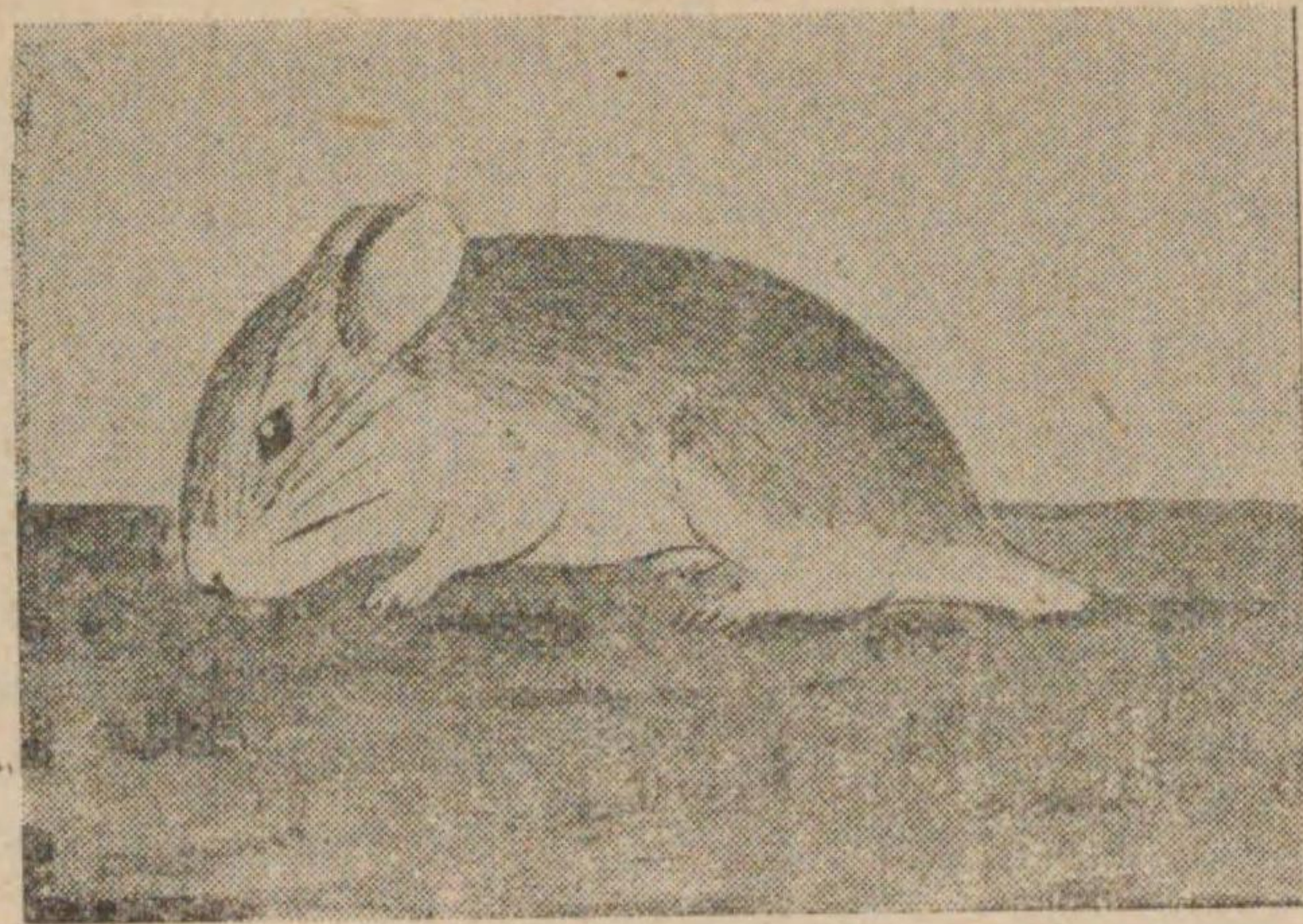
ブタヲキヌゲネズミ (*C. eversmanni curtatus* Allen) は尾が短くて後足長より僅

かきり長くない類で、體の背面は鈍黄色で腹面は白。頭胴長一〇五—一三〇、尾長一七—二四、後足長一七—二〇、耳長一一—一八耗位。内蒙を東西に横ぎつて分布する。オホキヌゲネズミ (*C. triton triton* De Winton et Styan) は大形で頭胴長一三五—一六〇、尾長四五—九五、後足長二三—二四、耳長一七—二〇耗位。河北省、山西省南部の産。後足白く、體背面は黄灰色、體色淡黄赭色、腹面帯灰白色。アレノキヌゲネズミ (*C. t. fuscipes* Allen) は之れの変種で、後足踝部が暗灰色。體背面鈍黄灰色、腹面煙灰色。河北省北部から熱河省に産する。キョウセイオホキヌゲネズミ (*C. t. collinus* Allen) は陝西省の西南部に産し、後足白く、體色や、濃くて背面灰色な變種である。又オールドスオホキヌゲネズミ (*C. t. incanus* Thomas) は綏遠省のオールドス沙漠の周邊に産する淡色の變種で後足はやはり白。

ケアシキヌゲネズミ (*Cricetiscus sungorus campbelli* Thomas) は腹面の白色が體側面にも廣がつて、背面の黄灰色と不規則に入り交つて、肩の前と後と及び臀にも二、三といふ風に白い斑紋が生じて居る。背筋には黒褐の縦條が走り、尾は疣の様に短く、足蹠は毛で被はれて居る。頭胴長八〇—一〇三、尾長四—一四、後足長



一二—一八、耳長一三—一五耗位。内蒙高臺の東南端ホロンバイルの邊に産する。



第六十八圖 ヒメケアシキヌゲネズミ

ヒメケアシキヌゲネズミ屬 (Phodopus) も小形で、足蹠は全部毛で被はれて居るが、黒い背中線なく、又背の色と腹の白色とは體側で一直線的に移行して居る。ヒメケアシキヌゲネズミ (Phodopus bedfordiae Thomas) は頭胴長六七—七六、尾長七一—一〇五、後足長一〇—一二、耳長一〇—一三耗位の小形種で、背面赤黄色で、腹面は純白である。陝西省、綏遠から北西にゴビを縦断してアルタイ山系の東端まで分布して居る。熱河省北部、東蒙には之れに近似したヒメキヌゲネズミ (Ph. praedictus Merri) が有る。ロボロフスキーヒメキヌゲネズミ (Ph. reborovskii Satunin) は甘肅省の南

山から一頭採れただけで、背面淡褐、腹面白、足蹠多毛で前者とよく似て居るが、頭胴長九二—一〇二、尾長六一—七耗位といふから、大きさの上から別種の價値があ

らうかといふ。

カンシユクキヌゲネズミ (Canumys canus Allen) は尾が頭胴長の半分位あるのみならず、尾の毛が尾根近くでは一〇耗、尾端に於ても七耗もある變つたものである。背面は灰色で吻の兩側と耳の基部と胸とに白斑があり他の腹面は灰色である。頭胴長二四八、尾長一〇八、後足長二〇・四耗といふ可なり大きなものである。甘肅省の南部で採れたのみである。

#### 4、鼠 亞 科

東半球ではありふれた鼠類だが、西半球には天産はないと言はれるものである。

臼齒は有根で、その突起が外、中、内三列をなして居る類である。支那には九屬を産する。即ちアカネズミ屬 (Apodemus)、カヤネズミ屬 (Micromys)、モリネズミ屬 (Leggada)、ハツカネズミ屬 (Mus)、ドブネズミ屬 (Rattus)、オニネズミ屬 (Bandicota)、ロキノポリネズミ屬 (Vandeleuria)、フサフキノポリネズミ屬 (Chilipodomys)、及びキノポリネズミ屬 (Hapalomys) がそれである。

アカネズミ (赤鼠) 屬 (Apodemus) も野棲の鼠で大きさは二十日鼠位のも有るが、



第一上臼齒が他の二臼齒の合長より大きくない點でも違ふし、天井の鼠の類は第一上臼齒の根が五本であるのに、本屬では三根又は四根である。カヤネズミ屬とは外聽道辨のない點と尾が巻きつく性がないために、尾端上面も裸出して居ない點で違ふ。ミミクロアカネズミ (*A. sylvaticus orestes* Thomas) は四川省、雲南省の産で、背面暗褐色で後背の正中に黒線有り、踝部白く、耳は黒ずんで居る。尾は頭胴長よりやゝ長く、即ち頭胴長八八—一〇二、尾長一〇二—一二五、後足長二三—二五、耳長一七—一八・五耗位。フクケンアカネズミ (*A. s. draco* Bar-Ham.) は體色もつと鮮麗で、背正中に黒線なく、踝部暗色で、尾長と頭胴長の長さが相等しい變種で、福建省の産である。ハントウアカネズミ (*A. peninsulae* Thomas) は朝鮮にも産する種類であるが、支那でも、河北、山西、陝西、甘肅、四川、雲南諸省の叢林地に見出されて居る。體背面は一樣に赭色で黒線なく、尾は上面黒褐色、下面白である。頭胴長八一—一一八、尾長九〇—一〇四、後足長二二—二四、耳長一四—一七耗位。オホミミアカネズミ (*A. latronum* Thomas) は四川省、雲南省の産であるが、大形で耳が目立つて大きい。頭胴長九二—一二〇、尾長一〇三—一二二、後足長

二四—二七、耳長一八—二一耗位。體色は背面灰色で腹面も帯白灰色である。

以上に述べたアカネズミ類では第三上臼齒の内側には三葉有るが、以下に述べるセスデネズミ (*A. agrarius* Pall.) やは同齒の内側には二葉有るに過ぎなす。

マンシウセスデネズミ (*A. agrarius manchuricus* Thomas) は背筋に黒條有り、他背部は灰赭色で、腹面は帯灰白色、頭胴長一〇〇—一一〇、尾長七五—八〇、後足長一九—二二、耳長一一—一四耗位。朝鮮の (*A. a. coreae* Thomas) や熱河のネツカセスデネズミ (*A. a. gloveri* Kuroda) 共々原種に一括する人もある。支那では河北省の東邊に産し、河谷の畔の長草の原に主として棲む。之れに似て背筋に黒條が有るが、他部はもつと淡色なサントウセスデネズミ (*A. a. pallidior* Thomsa) は河北、山東、山西、陝西から四川や甘肅にも入り込んで居り、生態的には、林地にも谷にも石原にも、食物となる植物や隠れ場の有る所には、可なり広く分布する。ニンポーセグロネズミ (*A. a. ningpoensis* Swinhoe) は背筋にはつきりした黒條はないが、背の中央部が広く黒ずんで居り、他體部の色は前亞種に似てゐる。頭胴長八七—九八、尾長八一—一一五、後足長二〇—二二、耳長一二—一五耗位で、尾長が殆



んど頭胴長と等しい點も北方の亞種と異ふ。湖南省、浙江省を中心とし、福建省、湖北省などの江畔にも棲む。も一つの亞種タカネアカネズミ (*A. a. chevrieri* M.E.) は四川省、四川寄りの湖北省、雲南省、甘肅省等の高地六千尺から一萬尺邊の所に分布し、鮮やかな俗赭色の背をした黒條の無い亞種で、頭胴長八八—一二〇、尾長七三—一〇五、後足長二一—二五、耳長一四—一六耗位である。

カヤネズミ屬 (*Micromys*) は小形で、耳に、迎珠 (外聽道辨) が發達して居るので、ポケットが出来て居り、尾は巻き付くので尾端の上面が裸出して居る。歐洲のも日本のも支那のも同一種中に包括される程、趨異の程度は輕少なのだが、地方的變種としては澤山に分けられて居るが、支那のは一亞種だけとされて居る。禾本科の莖の間に丸形の巢を造り二乃至數頭の仔を産むが、南支那では竹の、地上一米位の所に造つた巢も見られて居る。頭胴長六〇—六八、尾長六〇—七五、後足長一四—一六・五、耳長九・五—一一耗位で、體色は背が暗赭色で體側にだんく淡くなつて、腹面は汚白色である。陝西省南部、四川、湖北、湖南、福建等の諸省で採れたが、皆同一亞種とされシナカヤネズミ (*M. minutus pygmaeus* M.E.) と稱せら

れる。日本では尾が頭胴長より長いのと短いのと別亞種にしたりして居るが、支那のは尾長が長いのも、等長なものも、やゝ短いのも同一亞種にされて居る。統計的にいふと、頭胴長以上の尾長の個體が多い。

モリネズミ (森鼠) 屬 (*Leggata*) はアフリカ及び印度等の熱い地方に分布するもので、二十日鼠類に似て居り、第一上臼齒がやはり第二、第三上臼齒の合長より長い位であるが、第三上臼齒が小さくて楕圓に近い面をして居る點も違ふし、又吻が二十日鼠に比べてずつと長い割合になる。支那には雲南省に一種二亞種知られるだけである。クックモリネズミ (*L. cookii cookii* Ryley) は頭胴長七〇—八耗、尾長七五—九六、後足長一八・五—二一・五、耳長一五耗位。外觀二十日鼠に似て居る。背の色も黒毛と先の赭色な毛と混じて居り、耳の毛は顯微鏡的である。ビルマの東北隅 (シャン地域) から、雲南のビルマ境の海拔一七〇〇尺位の邊に棲む。タカネモリネズミ (*L. c. meator* Allen) は西部雲南省の高地七千五百尺から八千尺の邊に棲み、體色が赭色味がなくて暗灰色な變種である。

ハッカネズミ (二十日鼠) 屬 (*Mus*) は前屬に比べると吻が短く、第三上臼齒の



突起も単一の楕圓ではない。歐洲の二十日鼠と比べると支那のは體が小さくて尾は頭胴長より短く、後足部が煤色でなくてまあい点點が違ふといはれる。カンシユクハッカネズミ (*M. bactrianus gansuensis* Satunin) は頭胴長五八—八二、尾長四七—五六耗といふから、尾が随分短いわけである。後足長一五—一七、耳長九—一五耗位。體色背面は砂黄色で背筋も黒味なく、腹面は白味がかつて居る。甘肅、陝西北部、モロコ、山東等に産する。熱河のヲナガハッカネズミ (*M. b. longicauda* Mori) も之れに合一するとすれば分布はもつと廣いわけになる。愛玩するコマネズミ (*M. b. rotans* Fortuyn) も西洋人は日本で出來た様に言つて居るが尾輪の數から見ると上記の支那の野生種の飼育中に、内耳の半規管が二つきりない品種が生じたものと思はれる。南京鼠は西洋でも東洋でも出來た飼育變種だらうと思はれるが、日本では南京鼠といふ位であらう中にはやはり上述の支那の二十鼠の飼育變種も確かに有つたのである。マンシウハッカネズミ (*M. b. manchou* Thomas) は背が遙かに暗色な點で上述の野生種と違ふもので、大きさは大體似て居る。即ち頭胴長七一—八五、尾長五六—六三、後足長一四—一六・五、耳長一一・五—一二・五耗位。河北省から

滿洲の吉林邊までも分布する。シセンハッカネズミ (*M. b. tantillus* Allen) は頭胴長六一—七八に對して、尾長五九—七一で尾がやや長いのと喉に鈍黄色の輪が有る點とで識別されるが、背の色は甘肅以北のと似てやや暗色なるもの、腹面も汚白色である。四川省を中心として、湖北省、甘肅省、陝西省にもはみ出して分布して居る。カケイハッカネズミ (*M. b. kakhyenensis* Anderson) は尾がむしろ頭胴長よりも長いか等しいか位の個體が多い程な、腹の灰色な、背面も北方の乾地のより濃くて暗色な類である。實驗用の白鼠でも高温で育てると尾が長くなる傾向があるのと同じ理法によつて尾が長いのであらうし、濃色なのは濕氣の多い處の動物に起る現象である。頭胴長六三—八一、尾長七〇—八五、後足長一六—一八、耳長一一—一四耗位。雲南省、海南島、福建省等に分布する。

ドブネズミ屬 (*Rattus*) は今迄述べた鼠類に比べれば大形で、第一上臼齒は第二第三の合長よりは短い。そしてすりへつた臼齒冠の各横襞にも三區劃の面影が明かである。日本では臺灣以外では種類としては二種にすぎないが、支那には十種以上も有り、一種中に數亞種を含む種もあるといふわけで却々複雑である。人家に入る



鼠は日本のと大して違つて居るわけではないが、野や森に棲む南方系の種類が日本よりずつと多いわけなのである。

シナドブネズミ (*R. norvegicus socer* Miller) は學名の上から言へばノルウェー邊のドブネズミの變種となるけれども、ドブネズミの歐洲に侵入したのは三百年餘り前からに過ぎないのであつて、本來の原産地はカスピ海とトボルスクとの間の邊と言はれるから、支那には歐洲から船にまぎれ込んで來なくとも、西北方から陸路を進撃して夙に入つたものと思はれるので、歐洲のよりも古い時代から居たものであらう。事實、上の學名で表せられるシナドブネズミは歐洲のに比べると毛が軟く後足が小さく、尾は毛が多く頭骨も一寸違ふ點があるといはれる。歐洲でドブネズミが繁殖して天井の鼠が亡びかゝつたのは一には家屋が木造から石造に變つて下水は何處にも有るが、天井には鼠が侵入しにくくなつたのにもよるであらうが、ドブネズミの方が實際體も大きいし、齒も強いし、繁殖力もまさつて居る事も確かである。例へば天井の鼠では一産仔數平均五・一、最高九疋といふのに、ドブネズミでは産仔平均八・一、最高一四疋といふ程で、乳房の數も前者では2—3の十個なのに、

後者では3—3の十二箇である。天井の鼠に比べると耳短くても毛が生えて居り、尾は頭胴長より短くて後足が太くてたくましい。下水のほとりに巢くつて、臺所にも出て來るが、水を遊ぶ事も上手であるから水路にそつてどん／＼分布を廣め得る。甘肅省、陝西省、山西省、河北省、四川省、雲南省、福建省等から、此のシナドブネズミが採れて居て、船で來たらしい歐洲風のドブネズミ (*R. norvegicus norvegicus* Ekleben) の存在が明かであるといふのは面白いことさへば面白い事である。頭胴長一五〇—二〇七、尾長一三〇—一七一、後足長三五—三八、耳長一八—二〇毫米。

クマネズミ (*R. ratus* L.) はドブネズミに比べると體の割に耳が大きくて裸出して居る様に見え、尾は頭胴長より長く、後足が細くて足甲が白くなく、柱や壁をはひ昇る。クマネズミといふ和名は背も腹も色が黒いといふ所からつけたのであるが、歐洲に昔榮えたのは黒いのであつたし、日本にも支那にも黒いのは居るけれども、個體數は後述の茶色の變種即ちエジプトネズミ (*R. r. alexandrinus* Geoffroy) より少ない。エジプトネズミは船でアキサンドリアの邊から入つたといふ意味



であらうが、船で日本や支那に入つた事は確であらう。ハイナンイヘネズミ (*R. hainanicus* Allen) は之れの小形なものといへるが、尾が割合に一層長いといふので頭胴長一七八—一八〇、尾長一七二—二二二、後足長三一—三六、耳長二〇—二五耗位。海南島の産。スラーデンイヘネズミ (*R. r. sladeni* Anderson) も之れに似たものだが、尾は比較的少し短くて體は海南島のより大きいもの。雲南省のビルマ境の邊のもので、頭胴長一六〇—一八五、尾長一六四—二〇八、後足長三三—三七、耳長二三—二五耗位。

キバラネズミ (*R. flavipectus flavipectus* M.E.) も人家にも侵入するし、足甲も白くなくて上述のエジプトネズミの類と近似したものである事は争はれないが、腹面が淡黄色を帯びて居る事や尾が比較的短い事、體や後足もやゝ小な事等を識別點とされる。印度やセイロン、ビルマ等にも分布するもので、東進して支那に入つたものであらう。江蘇省、福建省、四川省などに産し、頭胴長一四〇—二〇〇、尾長一五〇—二一〇、後足長三〇—三三、耳長一八—二三耗位。ウナンキバラネズミ (*R. f. yunnanensis* Anderson) は之れの變種で、背は少し鮮やかな赭色を帯び、尾長

と頭胴長とは一層接近して居る。雲南省西南部の産。すべて之等の人家に侵入する鼠は器物や食物の食害の外に、寄生する蚤等の媒介によつてペストを人に傳染させる恐れもあるので退治法を講じなければならぬ。

ハイバラネズミ (*R. nitidus nitidus* Hodgson) は腹面が灰色だといふ意味の和名であるが、灰色と言つても淡鈍黄なのである。背面の色はエジプトネズミに似て居るが、それより尾が短くて殆んど頭胴長よりやゝ長いに過ぎないし足甲が白い點で識別される。頭胴長一四八—一八〇、尾長一四九—二〇六、後足長三一—三六、耳長二一—二七耗位。四川省、雲南省、湖南省、海南島等から知られた。ヤハダネズミ (*R. n. humiliatus* M.E.) は尾の下面が上面よりずっと淡色な點が前者と違ふといふのであるが、北京附近で僅かに採れた絹毛状の軟毛なものである。センセイハイバラネズミ (*R. n. insolatus* Howell) も陝西省北部の延安附近四千尺の高地から採れたのみの極めて淡色な、尾は下面の色淡くて上面の色と違ふものである。

フッケンコキバラネズミ (*R. losea exiguus* Howell) は福建省や海南島の産で、臺灣のコキバラネズミ (*R. losea losea* Swinhoe) より體色が黒味が少なくてドブネズ



ミの様な色をして居り、腹面も汚白色で足甲も臺灣の様に着色して居ないで白いが他の點ではよく似たもので、エジプトネズミより小さく、後足細小で尾が短い。頭骨で見るとドブネズミよりはエジプトネズミ群の方に近いものである。頭胴長一四〇—一六五、尾長一四一—一七六、後足長二七—三一、耳長一八—二一耗位。ウンナンコキバラネズミ (*R. l. celsus* Allen) は雲南省北部の揚子江上流地方六千尺位の高地に産する變種で、腹面が黄色で、尾の上面暗褐、下面は淡色で、體の毛長く、背面は淡赭黄色である。乳房が3—3で合計十二個ある。

コウシネズミ (*R. confucianus confucinus* M. E.) は聖人孔子の名を借り來つて命名したものだと思ふが、毛は軟かであるが、夏毛には扁平な棘が混じて居る個體が往々有る。かぼそい小形の鼠であるが、尾は胴長より遙かに長くて背面は黒ずんで居り下面は白くて所謂二色であるが、胴體も背面は暗褐で腹面は白(時に胸や前腹に硫黄色を帯ぶ個體もある)で、兩色の境がはつきりして居る。足甲は煤色。頭胴長一二七—一六〇、尾長一七二—二〇〇、後足長二七—三二、耳長二—二四耗位で耳が割合に大きい。四川省、雲南省から横に湖南省を通つて浙江省、福建省まで分

布して居る。ウスイロコウシネズミ (*R. c. soyer* Thomas) は之れの淡色な變種で足甲も白又は鈍黄である。山東、河北、山西、陝西、甘肅諸省に分布する。ハイナンコウシネズミ (*R. c. lotipes* Allen) は反對に鮮かな赭色で冬毛にも夏毛の様に扁棘の混じて居る變種で海南島の産である。ネッカコウシネズミ (*R. c. chilensis* Thomas) は尾が比較的短くて頭胴長より少し短い個體の方が多し位である。熱河省の北京寄り地方の産。

アラゲネズミ (*R. fulvescens fulv. scens* Gray) も大ききや、尾が頭胴長よりずつと長くて上下異色な事はコウシネズミに似て居るが、毛が荒くつて、夏冬共に扁棘を混在する者が多いし、背の色も赤味がかつて居るし、耳も短い。頭胴長一二八—一四〇、尾長一八五—二〇三、後足長三〇—三二、耳長一八—二〇耗位。雲南省のピルマ境の産。之れの暗色がかれる赭土色の變種フッケンアラゲネズミ (*R. f. huang Bonhote*) は福建省に産する。

アンダーソンネズミ (*R. andersoni* Thomas) は色調は孔子鼠に似て居るが尾長一層長く體も少し大きい。腹面純白で尾の端も白く、耳も黒褐で目の前に暗色斑があ

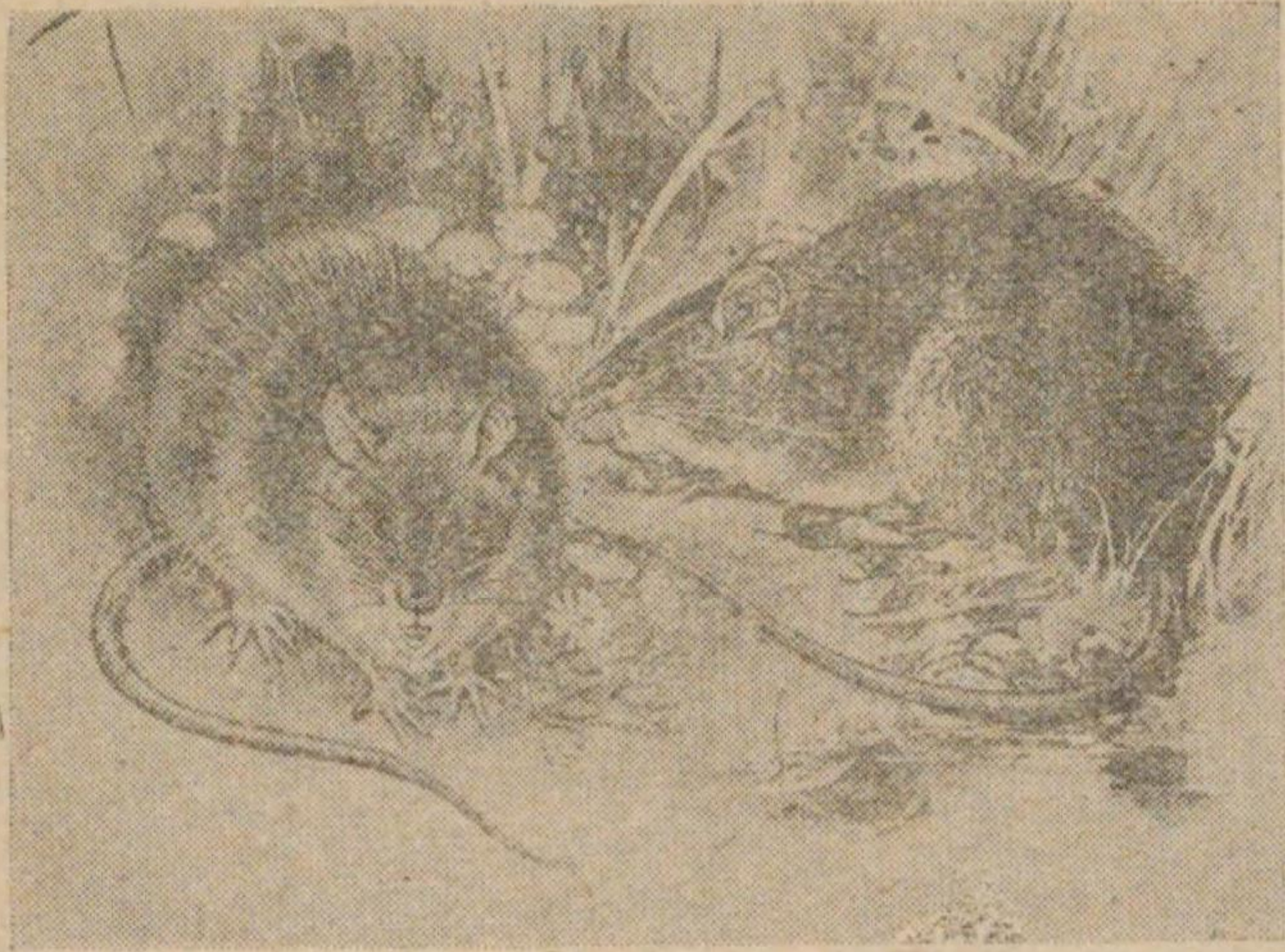


る。頭胴長一六五—一九八、尾長二一五—二六八、後足長三四—三七、耳長二三—二九耗位。四川省から知られて居る。

ススハラネズミ (*R. eha ninus* Thomas) は近似のものがシツキムに産し、その變種である。大きさは孔子鼠位だが、腹も煤色、足甲も煤色、耳や耳の毛房も黒い。頭胴長九二—一二七、尾長一三二—一八〇、後足長二五—二九、耳長一六—二二耗位。雲南省の西北部産。

エドワーズネズミ (*R. edwardsi edwardsi* Thomas) は有名なミルヌエドワーズに獻じた學名を擔ふ大形の鼠で、頭胴長二六〇—三〇〇、尾長三〇〇—三四〇、後足長四七—五二、耳長三一—三六耗位で、毛荒く背は暗褐、腹は純白である。福建省の産。之れの毛の荒い、そしてもつと背の暗色な變種シセンエドワーズネズミ (*R. e. gigas* Satunin) は四川省の東部、中部、北部、ビルマなどのあまり高地でない所から採られて居る。頭胴長二一六—二八五、尾長二八六—三二五、後足長五二—六〇、耳長三二—三八耗位。

ボワーズネズミ (*R. bowersii bowersii* Anderson) も大きくて後足長大である



第六十九圖 オニネズミ

が背の色がチョコレート色に小白斑が散布して居る。頭胴長一八〇—二三〇、尾長一九二—二五〇、後足長五一—五五、耳長二八—三三耗位、雲南省の西部七千尺とか九千尺とかいふ所から採れて居る。之れのやや淡色な變種フツケンボワーズネズミ (*R. blatchleyi* Thomas) は福建省の産である。

オニネズミ (*Bandicota nemorivaga* Hodgson) は臺灣にも棲むが、雲南省の西南部からも採れて居る。勿論もつと西方にも分布して居るのである。頭胴長三〇〇、尾長二五〇、後足長五〇耳長二九耗位と言つた大きさのもので、背面黒褐色、腹面は淡色で帯白褐色と言つた様な色である。臼齒を見ると溝鼠屬の者と異つて、各横裂に三つの區切りがはつきりして居ない。

コキノボリネズミ屬 (*Vandeleuria*) は樹に登るに適應して、後肢の跖趾は他の趾



と對向的で扁爪を有するが、臼齒はむしろ溝鼠屬に似て居る。小形で、ヲナガコキノボリネズミ (*V. dumetica* Hodgson) は頭胴長七五、尾長一三三、後足長一八・五、耳長一七耗位で、絹状の毛が密生し、背面は茶色で、腹面は白色、耳は黒く、尾端に暗色な毛房が有る。雲南省の西南境から採れた。クリイロコキノボリネズミ (*V. oleracea* Bennett) も雲南省のビルマ境から採れて居るが、背面が栗色で、腹面は白いと言つてもやゝ黄色を帯びて居る。頭胴長六二、尾長一一〇、後足長一八、耳長一四耗位。

フサフキノボリネズミ (*Chiro pod mys glir ides* Blyth) はヤマネモドキと言つてもよい様な形の、尾端に小さな毛房の有る、肢の短く、跣指趾に扁爪の有る類である。上臼齒も溝鼠屬と違ひ、中央の突起は縦につゞいて縦襞をなして居り、下臼齒では横襞をなして居る。前額は灰色、背は暗灰色で、肩や體側は褐色となり、腹面は白く。頭胴長一九三、尾長一一〇、後足長一八耗位。支那では廣西省から採れただけであるが、佛印の東京からも採れて居る。

キノボリネズミ (*Hapal mys delac ul i marm sa* Allen) は第一上臼齒の突起が横に

も三列、縦にも三列に行儀よく並んで居り、毛は軟くて細くて長く、背では十二耗位もある。腹は純白で、背は暗赤灰色、尾は殆んど裸で頭胴長より僅かに長い。即ち頭胴長一三〇、尾長一三八、後足長二一、耳長一二耗位。海南島(及び廣西省)から採れて居るが、安南のものの変種と見做される。

#### 七、箭猪(豪猪)上 科

西半球のキノボリヤマアラシ科 (*Erethiz nidae*) と東半球のヤマアラシ科 (*Hystericidae*) とを含むのであるが、支那には勿論後者のみ産する。背面には長く強く棘が有り、顔面骨内に空胞の有る類で尾は前者の様に巻きつく性がない。

フサフヤマアラシ屬 (*Atherura*) は、尾が後足長の二倍以上あつて、尾端に棘の小房が有り、背の棘短くて、最長七五耗。西アフリカに一種、南アジアに二種産するが、支那のはその内の一種で、二亞種とされる。ステブンス フサフヤマアラシ (*A. macrourus stevensi* Thomas) は支那では四川省から採られ、頭胴長五二五、尾長二二八、後足長七五、耳長三六耗位。ハイナンフサフヤマアラシ (*A. m. hainan-*



nus Allen) は小さくて暗色で尾も棘も共に短い。頭胴長三八一、尾長一三九、後足長六四、耳長三〇耗位。海南島の産である。

ヤマアラシ属 (Hystrix) は尾は後足の二倍以下の長さで棘房なく、背の棘は遙かに長大である。シナヤマアラシ (*H. subcristata subcristata* Swinhoe) は棘が西亞の程強大でないといふ意味であるが、それでも背後半の棘は二五耗位の太い棘と三七五耗位の細長な棘とで被はれる。頭胴長六五〇、尾長六〇、後足長七五、耳長二七耗位。南支一帶に分布し、北は湖北省から陝西省南部にも達する。ハイナンヤマアラシ (*H. s. papae* Allen) は之れの小形變種で、頭胴長五七〇、尾長一〇〇耗位。海南島の産。ウンナンヤマアラシ (*H. yunnanensis* Anderson) は外觀は上述の種と違はぬ程だが頭骨は明かに違ひ、即ち鼻骨が短くて涙骨の後縁を超えないといふ (前種では遙かに涙骨の後縁を超えて居る)。雲南省のビルマ境近くから採れたものである。

## 第八章 支那の食虫類

虫を主食とする小形の獸類で臼齒なども中生代の化石獸の三突起齒型から由來したと明言し得る様な齒型だし、門齒、犬齒、前臼齒、臼齒を完備し、指趾も五本づつ有り、睪丸も垂れ下れば有袋類と同様陰莖前に垂れるし、他にも色々原始的な性質を備へた世に隠れて棲む様な夜間活動性の者が多いが、支那の南西部には樹上に棲む類も進入して來てゐる。

### 一、有盲腸、亞目

樹に登り又は地上を馳けまはる栗鼠状のもので、晝間活動性で、盲腸が有り、坐骨と恥骨とは左右が長い癒合部を形成してゐる。南亞のトガリリス科 (Tupaidae) とアフリカのトガリトビネズミ科 (Macroscelididae) とを含むのであるが、支那にはトガリリス (樹仙) 科の一屬一種三亞種が知られる。



ドガリリス (*Tupaia belangeri chinensis* Anderson) は雲南省に産し、尾を込めての全長三二〇—三五八、尾長一六三—一八六、後足長四〇—四五、耳長一四—一七耗位で吻の尖つた栗鼠の様な形で房々した尾を立てる。背面の色はオリーブ灰色で肩に淡色條が有り、腹面は淡赭黄色である。同省では西北の一萬尺位の處にも、西南の平地の林にも棲む。雲南省の東南部(蒙自)には、背の色が褐色な亞種 *T. b. yunalis* Thomas が棲む。海南島にはハイナントガリリス (*T. b. m. desta* Allen) が棲み、背面の色が灰色で肩の條も不明瞭で、頭胴長一七五—一九五、尾長一四九—一六五、後足長四二—四五、耳長一〇—一六耗位。

## 二、無盲腸、亞目

盲腸が無く又坐骨と恥骨とは左右癒合部を形成せぬか又は恥骨の端骨で繋るのみである。

### (イ) 獺 科

支那にも南アジアの棘の無い類も入り込んでゐるので、棘の有る事を本科の特徴といふわけにはゆかぬが、アジアの食虫類としては大形のもので、地上に棲み、顴骨弓が完全で、脛骨と腓骨とは末端が癒合し、臼齒には四又は五突起が有る。

キノウハリネズミ (*Hylomy sulillus p. guensis* Blyth) は棘がなく、背面灰褐色、腹面淡黄白色で、尾は後足長より短い短尾であり、頭胴長一〇五—一二五、尾長一九—二四、後足長二三—二五、耳長一六—一七耗位で、マライ半島、スマトラ、ジャワ、ビルマにも棲むが、雲南省のビルマ境にも棲む。齒式は  $\frac{3.1.4.3}{3.1.4.3}$  で獺より原始的なものと言はれる。之れに似て尾がもつと長いヲナガキノウハリネズミ (*Neot. tracus sinensis* Tr. uessart) は西康省の打箭爐や、もつと東方や雲南省から知られて居り、頭胴長一〇五—一二二、尾長六〇—七〇、後足長二四—二六、耳長一七—一八耗位である。

ハリネズミ(獺、棘蝟、毛棘)屬 (*Erinaceus*) は北方的なもので南支には居らぬ。毛も勿論有るが、頭、胴、尾の背面や側面には圓くて尖つた棘が體表を被つて居り皮膚筋が発達して居つて體を栗のいがの様に丸くする事が出来るので瓜畑等に居ても敵襲を防ぎ得るのである。齒式は  $\frac{3.1.3.3}{2.1.2.3}$  でどちらから言つても前屬よりは後成的



なものと言へる。支那のも満洲のも朝鮮のも歐洲のも同種中の亞種と言つてもよい位似たものではあるが、ホクシハリネズミ (*E. europaeus dealbatus* Swinhoe) は



章七十圖 アラシヤンオホミミハリネズミ

リネズミ (*E. e. mi d n Thomas*) と呼ばれる。

ダウリヤオホミミハリネズミ (*Heriichinus dauricus dauricus* Sundevall) は頭頂に

歐洲のより淡色で且つ小形であることせられ、頭胴長二一五—二二七、尾長四二—四五、後足長四〇—四一、耳長二六耗内外。江蘇、山東、河北、湖北、陝西の諸省から満洲の熱河省、興安南省のもの陝西省北部のオルドス沙漠の縁に近い榆林府の邊のは白い棘が混在せず、又前上顎骨の先端が細くて後端は前頭骨と接するので上顎骨と鼻骨とは接觸を絶たれて居る點も異ふといふので別亞種とされユリンハ

は棘の無い事と耳が大きい事で上述の種と異ふもので、蒙古の東部、察哈爾の産であるが、満洲のホロンバイルにも居る。満洲中央平原のはもつと小形でトウモウオホミミハリネズミ (*H. manchuricus* Mori) とす。前者は頭胴長二四四、尾長二八、耳長三四耗位。アラシヤンオホミミハリネズミ (*H. d. alaschanicus* Saturnin) は前者の寧夏省のアラシヤン地方の變種で、色が淡色で、體側や腹面が灰褐でなくて純白である。

(ロ) 鼯鼠科

程度の差はあるが土を掘るに適した前肢を有し、頭蓋骨前端に前鼻骨(又は軟骨)を有し、顴骨弓が完全で鼓骨胞が有る事もトガリネズミ科との違いである。

ヨーロッパモグラ属 (*T. Ipa*) は、前肢掌に鎌状腕骨も加はつて短大、爪も強大な掘爪で、上膊骨や鎖骨も短大となり、胸骨も長くなつて所謂前胸骨が出来て居て、前肢を運動させる筋肉の強大な事と聯關があるといふ様な點も、體形も日本のモグラと同様であるが、唯齒數が日本のモグラ程減少して居らぬのであつて  $\frac{31.4.3}{31.4.3}$  の齒式なのである。此の属のハナナガモグラ (*T. Ingir stris* M.E.) は四川省の森林地



に産し、頭胴長一〇五、尾長二〇、後足長一四・五（爪を除き）<sup>3.1.4.3</sup> 耗位で石板黒色である。歐洲のより少し小形で、吻が細長である。齒式が日本と同じく<sup>3.0.4.3</sup> なフツケンモグラ (*Mogera latu chei* Thomas) は福建省に産し、頭胴長八七—一一五、尾長一五—二〇、後足長一三—一四耗位で、小形種である。海南島のハイナンモグラ (*M. hainana* Thomas) はもう少し大きくて、頭胴長一一五—一三四、尾長九—一四後足長八—一八耗位で褐色がかつて居る。齒式が反對に<sup>3.1.3.3</sup>  $\frac{3.1.3.3}{3.1.4.3}$  で上齒の方が少ない所の、そして尾が短<sup>3.1.3.3</sup> ウンナンモグラ (*Parascaptor leucurus* Blyth) は、雲南省の西境ビルマのシャン地区、アッサム等から採れて居る。頭胴長一〇五—一一〇、尾長一〇—一五、後足長一五耗位。又齒式が<sup>3.1.3.3</sup>  $\frac{3.1.3.3}{3.1.3.3}$  で齒數が一層少なく、尾も短くて一〇耗位以下である所のジャカウモグラ (*Scaptochirus moschata moschata* M.E.) が河北省、滿洲、山東省から採れて居る。之れの變種サンセイジャカウモグラ (*S. m. gilliesi* Thomas) が山西省から採れて居るが、少し小さい點が異ふといふけれども、それは頭骨で少し小さいのであつて、外形では小さいといへないし、體色もどちらも灰褐色である。

面白いのは北米のモグラに似て、前方の門齒が大きくて上犬齒が小さく、手もモグラ程は廣くなく、爪もやゝ細く、尾はやゝ長く、そして齒が上顎にも下顎にも左右各九本づつしかない<sup>2.1.3.3</sup>  $\frac{2.1.3.3}{2.1.3.3}$  オーエンモグラ (*Scapanus oweni* Thomas) が陝西省(大白山)、甘肅省南部から採れて居る事である。頭胴長一〇八、尾長三八、後足長一四耗位。體色暗灰色で、光線の具合によつては銀灰色に見える點も北米の屬に似て居る。北米と關聯ある動物の一例である。

四川省成都の西北馬邊山から知られて居るヒメモグラ (*Uropsilus soricipes* M.E.) は體形も細く尾も長くてドガリネズミ状であり、前肢の掌も殆んど廣くなつて居らぬものだが、頭骨で見るとモグラ科に入れるべきものである。セピヤ色で頭胴長六三—七二、尾長六四—六五、後足長一五耗位。齒數三十四本、齒式は<sup>2.1.3.3</sup>  $\frac{2.1.3.3}{1.1.3.3}$  で上門齒は犬齒より遙かに大きい。アンダーソンヒメモグラ (*Rhynchonax anders ni andersoni* Thomas) も四川省南部の産であるが、暗色で齒數が<sup>2.1.4.3</sup>  $\frac{2.1.4.3}{2.1.3.3}$  で四本多<sup>2.1.3.3</sup> 點が違ふ(時に上前臼齒一對ない個體もある)。頭胴長六七—七〇、尾長六五—六八、後足長一四・五—一五・五耗位。雲南省西北、麗江附近の雪山には之れの淡褐色な變



種セツザンヒメモグラ (*Rh. a. nivatus* Allen) が棲み、雲南省西南部の高地には之れの暗色な變種ウンナンヒメモグラ (*Rh. a. atronates* Allen) が棲む。ホソヒメモグラ (*Nasillus gracilis* Thomas) は四川省東南部の産で、頭骨は遙かに前二屬より細く齒式が  $\frac{2.1.4.3}{1.1.4.3}$  なる事も違ふが、齒の總數は同じわけであるし、外觀もよく似て居る。體色はセビヤ色で、アンダーソンヒメモグラ程暗色ではない。頭胴長六六、尾長五五、後足長一三・五耗位。同屬のウンナンホンヒメモグラ (*N. investigator* Thomas) は雲南省の西北隅で採られ、頭胴長六七—八三、尾長五四—七五、後足長一三—一六耗位で前種と色もよく似て居る。産地が大分離れて居るといふので別とした様なものである。斯んな例が多すぎて人を悩ますのである。

も一つ、ヒメヒメズ類よりもやゝモグラ類に似た所の、北米のアメリカヒメズ屬 (*Neurotrichus*) や日本のヒメズ屬 (*Urotrichus*) に外觀がよく似て、尾も短くて毛少なく、前鼻軟骨があり、掌も少し廣く、指端が掘爪のものと同様に二又し、爪も殆んど真直だが、モグラ程は掘地に適した前肢骨格の變化を経て居らぬ所のシナヒメズ屬 (*Scaptonyx*) が青海省と雲南省の西北部とに知られて居る。齒式  $\frac{3.1.4.3}{2.1.4.3}$  である。

ある。青海省のヲナガシナヒメズ (*S. fuscicaudatus* M.E.) は頭胴長六三、尾長四五耗位。雲南省西北部阿墩子附近のウンナンシナヒメズ (*S. f. a. finis* Thomas) は、頭胴長八〇—九〇、尾長二六—三〇、後足長一二—一五・五耗位である。

#### (ハ) 尖鼠科

體形細く、尾も比較的長いが、頭骨にもつと著しいモグラ科との違ひが有るのであつて、即ち鼓骨は環状で(鼓骨胞を成さず)、顴骨弓もなく、第一門齒が大きくて鉤状に曲り、基部に瘤状突起が有る。前臼齒より前方の齒は皆單柱状なので齒式の判定が人によつて違ふ事がよくある。

#### (一) 尖鼠亞科(齒の頭が赤い類)

トガリネズミ(尖鼠)屬 (*Sorex*) は東西兩半球の北方に多いもので支那には北方から進入したものである。齒の頭が赤く染まつて居る。齒は三十二本であるが、齒式は  $\frac{3.1.3.3}{1.1.1.3}$ ,  $\frac{3.1.3.3}{2.0.1.3}$ ,  $\frac{4.1.2.3}{2.0.1.3}$  等と判定者によつて説が違ふ。體細く尾は頭胴長の半分以上である。大形で、後足長(爪を入れて)一三—一四耗位の種類としては、先づキタオホトガリネズミ (*S. araneus borealis* Kastschenko) がシベリヤから



蒙古北部に分布し、背面橙褐色で腹面は帯白又は淡黄灰色。足甲も背と同色。アルタイのは頭胴長六七、尾長三一—四〇、後足長一三・五耗位。ウンナンオホトガリネズミ (*S. excelsus* Allen) は灰褐色で、頭胴長六〇—六二、尾長五〇—五一、後足長一三—一四耗位で、雲南省西部から知られ、カンシユクオホトガリネズミ (*S. sinalis* Thomas) は背腹共に褐色で、頭胴長七〇、尾長五五、後足長一四耗位。甘肅省東南部、陝西省西南部から知られた。小形で後足長が一二耗以下の種類としては、先づバクストントガリネズミ (*S. buxtoni buxtoni* Allen) がシベリアから蒙古北部にかけて知られ、背面赤褐色、腹面黄白色で足甲は銀白色である。頭胴長六四—六八、尾長三〇—三五、後足長一二—一三耗位。カンシユクトガリネズミ (*S. buxtoni cansulus* Thomas) は背面灰褐色で、頭胴長六四、尾長三八、後足長一二耗位。チベットトガリネズミ (*S. minutus tibetanus* Kastschenko) は頭胴長四七、尾長三三、後足長一一耗位の小形のもので、チベットと四川省との間、西康省邊から知られたが、此の系統の近似種はシベリアを横ぎつて、日本の樺太や北海道にも産する。セスヂトガリネズミ (*S. cylindricauda cylindricauda* M.E.) は尾が細くて比較的長

く背筋に黒條が有り他背部は橙褐である。胴頭長七四、尾長五八、後足長一二・五耗位。陝西省西南部、四川省西部、西康省、雲南省西北部に分布する。ワードセスヂトガリネズミ (*S. c. wardi* Thomas) は之れの淡色變種で、甘肅省南部から知られ、頭胴長五三、尾長四九、後足長一二耗位。ウンナンセスヂトガリネズミ (*S. c. gomphus* Allen) は雲南省西部サルキン河畔海拔七千尺位の處から知られ、暗褐色で、頭胴長五五、尾長三九、後足長一三耗位といへば體は上述の原種より小さくない様だが頭骨は明かに小さい(全長一六・六耗、原種では一七・四—一八・五耗)。

ケムリトガリネズミ (煙尖鼠) 屬 (*Soriculus*) は齒の頭はやはり赤すが、齒の數が三十本 ( $\frac{31.2.3}{20.1.3}$ ) で、尾が長し。印度其他の南方的なもので臺灣にも一種産するが、支那にも二種三亞種が知られた。ヲナガケムリトガリネズミ (*S. macrurus* Blanford) は、はじめ印度のダージリンから知られたもので、頭胴長五三・三、尾長八一—八三、後足一四—一五耗位で、尾が極めて長く、背は淡灰色で體側はものと淡色になる。雲南省西部高地から採れて居る。シナケムリトガリネズミ (*S. caudatus sacra us* Thomas) は尾長と頭胴長と接近し、頭胴長六〇、尾長五四、後足長



一四耗位で、全身褐色であり、四川省の西部から知られた。ヨグロケムリトガリネズミ (*S. c. umbrius* Allen) は尾の上面と下面とが色を異にしないで、一様に暗褐色な点でも上亞種と違ふし、背の色もオットセイの様な黒褐色である。頭胴長六〇、尾長五五、後足長一二耗位で、雲南省西南部の海拔七千尺位の處に棲む。

阿里山尖鼠屬 (*Ch. digoa*) は齒数が二十八本 ( $\frac{3.1.1.3}{2.0.1.3}$ ) な點で違ふが、他點は前屬によく似たものである。ヤマトガリネズミ (*Ch. hypsibia hypsibia* De Winton et Sivan) は四川省西北のコツゴウ邊で採れたといふので屬名としたのであるが、南陝西省の大白山からも採れ、雲南省からも採れて居る。背面灰褐色で尾は下面が白に近うので上面と色を異にし、頭胴長より僅に短う。即ち頭胴長八四、尾長六五、後足長一五耗位である。之れの小形な變種とされるカンシクヤマトガリネズミ (*Ch. h. lamula* Thomas) は甘肅省南部に知られ、頭胴長六七、尾長五四、後足長一三耗位。熱河省の南部にも、之に似た頭胴長六八、尾長五〇、後足長一四、耳長八・五耗位の變種ビロードトガリネズミ (*Ch. h. larvarum* Thomas) が採れて居る。コヤマトガリネズミ (*Ch. parva* Allen) は屬中最小の種類で、頭胴長五四—五六、尾長

四三—四五、後足長一一—一一・五耗位、背面暗灰褐色で腹面は灰色である。雲南省の西北隅の産。サレンスキヤマトガリネズミ (*Ch. salenski* Kasarschenko) は大形で尾が長く、頭胴長八一、尾長一一六、後足長 (爪を除く) 二〇・五、耳長一〇耗位で、背面暗褐色、下面茶白色である。四川省北部の産。スミスママトガリネズミ (*Ch. smichi smichi* Thomas) はやはり大形だが、尾長は頭胴長と等しい位で、背面も腹面も鼠灰色である。頭胴長八五、尾長六八、後足長一八耗位。西康省の四川境の打箭爐の海拔九千尺の邊から採れた。之れの變種ウンナンヤマトガリネズミ (*Ch. s. parva* Allen) は雲南省西境海拔八、九千尺邊の處で採れ、頭胴長六六—七〇、尾長八一—九一、後足長一六—一七・五耗位。

フトリトガリネズミ (肥尖鼠) 屬 (*Blarinella*) は耳が極めて小さく事、前肢の爪がやゝ長大な事、尾が短い事、體が肥つて居る事等、多少掘地體形をなして居るものであるが齒はトガリネズミ的である。フトリトガリネズミ (*B. quadraticaunda quadraticaunda* M.E.) は四川省の中部 (馬邊山) 及び東部から知られ、背面は灰褐色で腹面は黄灰色で、頭胴長一〇三、尾長四〇耗位である。カンシクフトリトガリネズ



“(B. q. griselda Thomas) は上述の原種に比べると小形で、灰色がかつた變種で、手、足、尾も褐色でなくて灰色である。尾も一層短く、頭胴長六八、尾長三三、後足長一一耗位で、甘肅省の産。ワードフトリトガリネズミ(B. q. wardi Thomas)は雲南省の西境海拔九千尺から一萬二千尺位の高地から知られ、背面暗灰色で、腹面の色や、淡く、尾は二色で、上面暗灰色、下面は淡色である。頭胴長六〇—七〇、尾長三三—三六、後足長一一—一二耗位である。

(2) 鼯鼠亞科(齒が白く類)

ジャカウネズミ(香鼠)屬(Suncus)は齒が二十本 $(\frac{3.1.2.3}{1.1.1.3})$ で臭氣の強さ(あ大形のもので、南アジア産のものである。ジャカウネズミ(香鼠)(Suncus murinus L.)は殆んど全身褐色を少し加味した灰色で、頭胴長一一五—一四八、尾長六五—七八、後足長一二—一四、耳長一九—二四耗位で、海南島、廣東省、福建省等の海岸に近い所に分布し、湿地や石垣などに穴を掘り、人家にも入つて來る程普通なもので、走り廻る間絶えず錢を投げた時の音の様なチリンとといふ聲を出すので錢鼠ともいふ相である。麝香臭が強く乾皮でも香ふといふ。

チネズミ屬(Crocidura)は齒が二十八本 $(\frac{3.1.1.3}{2.0.1.3})$ である。シナチネズミ(C. attenuata M.E.)は可なり大きな灰色の種類で、頭胴長七〇—八九、尾長三八—五四、後足長一三—一五・五、耳長六—一〇、頭蓋全長二〇—二二耗位で、北は湖北、四川から南は福建、海南、雲南まで殆んど中支、南支一面の低地に棲む。

フジロチネズミ(C. dracula dracula Thomas)も大きく、尾の先端に白斑のあるもので、背面も前種よりや、褐色味が加つて居る。頭胴長八四—一〇五、尾長六二—八〇、後足長一六—一九、耳長九—一二、頭蓋全長二二・四—二四耗位。雲南省の東南からも西北からも高地からも低地からも採れて居る。之れをや、小形の變種フツケンフジロチネズミ(C. d. grisescens Howell)は福建省の西北部で採られ、頭胴長八七—九〇、尾長五九—六五、後足長一四—一六、耳長九—九・六、頭蓋全長二一・六耗位。

ヒメチネズミ(C. ilensis ilensis Miller)は小形で、體も尾も背面は灰褐色で下面は銀灰色である。頭胴長五五、尾長三〇、後足長一三(爪を含み)、頭蓋全長一六・六耗位。新疆省の半荒原的草原の産。之れの淡色變種ゴビヒメチネズミ(C. i. lar



Allen) は後足も白味がかり、蒙古のゴビ沙漠の産で、頭胴長六〇、尾長二九、後足長一二耗位。山東省のサントウヒメヂネズミ (*C. i. shantungensis* Miller) も暗褐で足は白つぼいが、やはり同種中の變種と見做される小形のもので、頭胴長五八—六四、尾長三二—三九、後足長一〇・五—一二・五耗位。四川省産のシセンヒメヂネズミ (*C. i. phaeopus* Allen) は體色黒褐、後足甲も暗色であるが、同じく小形で頭胴長五六一六二、尾長三七—四五、後足長一〇—一三耗位。四川省寄りの湖北省西部(宜昌)や陝西省南部の大白山からも採れて居る。ウスイロヂネズミ (*C. vorax* Allen) は雲南省西北部の産で一吋四川の上記のものに似て居るけれども、體色ずつと淡い灰褐で、又明かに大きい種類である。頭胴長七二、尾長五一、後足長一三、頭蓋全長一九—一九・八耗位。ミナミウンナンヂネズミ (*C. rapax* Allen) は雲南省南部の高地から知られ、大きさは前種位だが、ずつと濃褐な種類である。頭胴長六四、尾長四二、後足長一二・五、頭蓋全長一八耗位。

ウロロアシヂネズミ屬 (*Anurcus rex*) のヂネズミ屬に對する關係は丁度フトリトガリネズミ屬のトガリネズミ屬に對するのに似たものである。即ち地下棲的變化を示すもので、尾が後足よりも短い位で且つ毛が殆んど目に付かずに鱗が目立つし、足首にも鱗が有つて爪がよく發達して居る。齒の數は二十六本  $\left(\frac{2.1.1.3}{1.1.1.3}\right)$  でヂネズミ屬よりも二本少ない。ウロロアシヂネズミ (*A. squamipes* M.E.) が即ち之れで、雲南省西半、四川省一面から陝西省の南部にまで分布して居る。頭胴長九二—一〇四、尾長九—一五、後足長一四—一六、頭蓋全長二一・五—二五・五耗位、體色は背面はやゝ褐色味を帯びた暗灰色で、頬に赭褐色の小斑有り、腹面は淡灰色である。

カハネズミ (河鼠) 屬 (*Chimarrigale*) はボルネオの高山と日本の本土にも居るものであるが、谿流の岸に棲み、川中の虫や小魚を食とする大形の類で趾の縁に丈夫な毛が密生して蹠の代用をなす。頭蓋が廣くて扁平な妙な形で、齒は二十八本  $\left(\frac{3.1.1.3}{1.1.1.3}\right)$ 。ヒマラヤカハネズミ (*Ch. himalayaica himalayaica* Gray) はシッキム、カシユミール、トンキン等にも居るが、支那でも雲南省西北部の高地から採られて居る。頭胴長一〇〇、尾長八〇、後足長(爪を除いて)二三・三、頭蓋全長二六—二七・八耗位。背面は石板灰色で、先の白い毛が散在し、腹面は淡灰褐色、尾



は上面は黒褐色だが下面は基部三分の一は白。フツケンカハネズミ (Ch. h. lean-der Th. mas) はやゝ淡色で、やゝ小形の變種といふだけのちがひで、頭胴長八〇—



第七十一圖 ミヅカキカハネズミ

一〇六、尾長八〇—九一、後足長(爪を除く)二〇・五—二三、頭蓋全長二五—二六耗位。福建省や浙江省の産。ステイアンカハネズミ (Ch. styani De Winton et Styani) は背は石板色だが腹面は白くて両色の境界線がはつきりして居る。頭胴長一〇〇尾長八五、後足長一七・五—二〇、頭蓋全長二三・九耗位。西康省北東部(ヤンリウバ)とビルマの北部の一萬尺位の高地とから採れたのみである。

ミヅカキカハネズミ (*Nectogale elegans* M.F.) は一層水に縁故の深い體をして居り、趾間に蹼が発達し、指趾端は盤状にふくれ、尾には正中にも左右にも、剛毛の龍骨状突起が出來て居り齒も魚食的變形を示して居る。足甲には鱗の列が有る。西康省のヤンリウ

バ、四川省の馬邊山、陝西の西安から採られ、頭胴長一九〇、尾長一〇〇、後足長二五、頭蓋全長二五耗位といふ大きなもので、背面は石板灰色で、白先の長毛が散在し、腹面は白。ぬれて居る時は虹彩を放つといふ。



## 第九章 支那の翼手類 (蝙蝠類)

## 一、大蝙蝠亞目——大蝙蝠科

此の類は拇指と示指との兩指に爪が有るし、目立つて大形であるが耳は小さいし、果物を食とするもので一見しても虫を食ふ普通の蝙蝠類と識別される。南方に多いもので支那には南部にのみ見出される。

イヌオホカウモリ (*Cynopterus sphinx sphinx Vahl*) は齒が三十本 ( $\frac{2.1.3.1}{2.1.3.2}$ ) で體肥り吻は短い鼻孔は突出して殆んど管状と言つてもよい位で、體は此の科のものとしては中形である。頭や背や前膊は綠褐色で、頸の側面は橙褐色で腹は暗褐色。前膊長六六—七三・五、後足長一六一—一八・五、尾長一〇—一三、耳長一八—二〇。頭蓋全長二一・五。海南島の産である。カントンイヌオホカウモリ (*C. brachyotis angulatus Miller*) は大きさも色も前種と似て居るが、耳が小さくて吻もやゝ短

い點が前種と異つて居る。前膊長六五—七二、後足長一五一—一七・五(爪を含む)、尾長八・五—一一・五、耳長(内側)一六一—一八、頭蓋全長三〇・五—三三・二。位。廣東省の外、アッサム、ビルマ、マライ半島、シヤムに分布する。

レシユナウルトオホカウモリ (*Rousettus lesch nauti Desmarest*) は齒數三十四本 ( $\frac{2.1.3.2}{2.1.3.3}$ ) で體色暗褐色で、大きなもので前膊長八〇・五—八七・五、後足長二〇—二三・五、尾長一三一—一七・五、頭蓋全長三七—四一・五。耗位である。香港や厦門で稀に採れた例があるだけで印度程に多く見られるものではない。尾のないオホカウモリ屬 (*Pteropus*) は日本の南部にも諸種が知られて居るのに支那南部からは採られて居ないのは妙である。

## 二、小蝙蝠亞目

此の類は拇指にだけ爪が有り、示指には爪も第三指骨も無い。虫を食ふ類で、カウモリの古名カハホリは蚊屠りの訛つたものといふ人も有る。耳は大きい。支那からは左の六科が知られて居る。即ち荒蝙蝠科 (*Megadermidae*)、神樂蝙蝠科 (*Hippo-*



Sideridae) 菊頭蝙蝠科 (Rhinolophidae) 挿尾蝙蝠科 (Emballonuridae) 大耳蝙蝠

科 (Mossidae) 雛蝙蝠科 (Vespertilionidae) が

それであつて、日本に産しない科が一科有るが、種類も日本よりずっと多いのは地理的關係上當然であらう。

(イ) 荒蝙蝠科

鼻葉即ち顔に皺が有る點に於ては菊頭蝙蝠科や神樂蝙蝠科に似て居るが、耳に耳珠が有り、しかもその端が二又して居る。大形のもので耳が目立つて大きい。

シナアラカウモリ (*Lyroderma lyra sinensis Anders et Wroughton*) は前膊長六五—六七、頭蓋

全長三〇耗とすへばイヌオホカウモリに負けぬ大

きで、齒は二十八本  $\left( \begin{smallmatrix} 0.1.2.3 \\ 2.1.2.3 \end{smallmatrix} \right)$ 、耳は楕圓形で大きく前額を横ぎつて左右耳が



第七十二圖 アラカウモリ屬の一種

連結して居る。背の色は暗灰色で顔は淡灰色である。福建省の北部から採られたのも有り、四川省の雅州で採れた三十五足は福建のより褐色だと言ふ報告も有る。印

度の近似の類の様に、小鳥とか蛙とか小獸類とかを食物として居るものだらうといふ。

(ロ) 神樂蝙蝠科

顔面の皺即ち鼻葉は一層複雑多數であるが、耳は大きい耳珠はない。後足の各趾は二節より成つて居る。齒は三十本  $\left( \begin{smallmatrix} 1.1.2.3 \\ 2.1.2.3 \end{smallmatrix} \right)$  である。

ヒマラヤカグラカウモリ (*Hipposideros armiger armiger H. dgson*) は印度北部から雲南省、

四川省西南部等に分布し、前膊長八五耗をこえ

る者も有る位大形種で、上端の分岐せぬ鼻葉の外に鼻の左右にも各四皺の副鼻葉が有る。體色はグンダイク褐色。西方から雲南省にかけて棲む。スピンホーカグラカウモリ (*H. a. swinhoei Peters*) は福建省、浙江省、江蘇省等に分布し、大きさは前者



第七十三圖 ヒマラヤカグラカウモリ



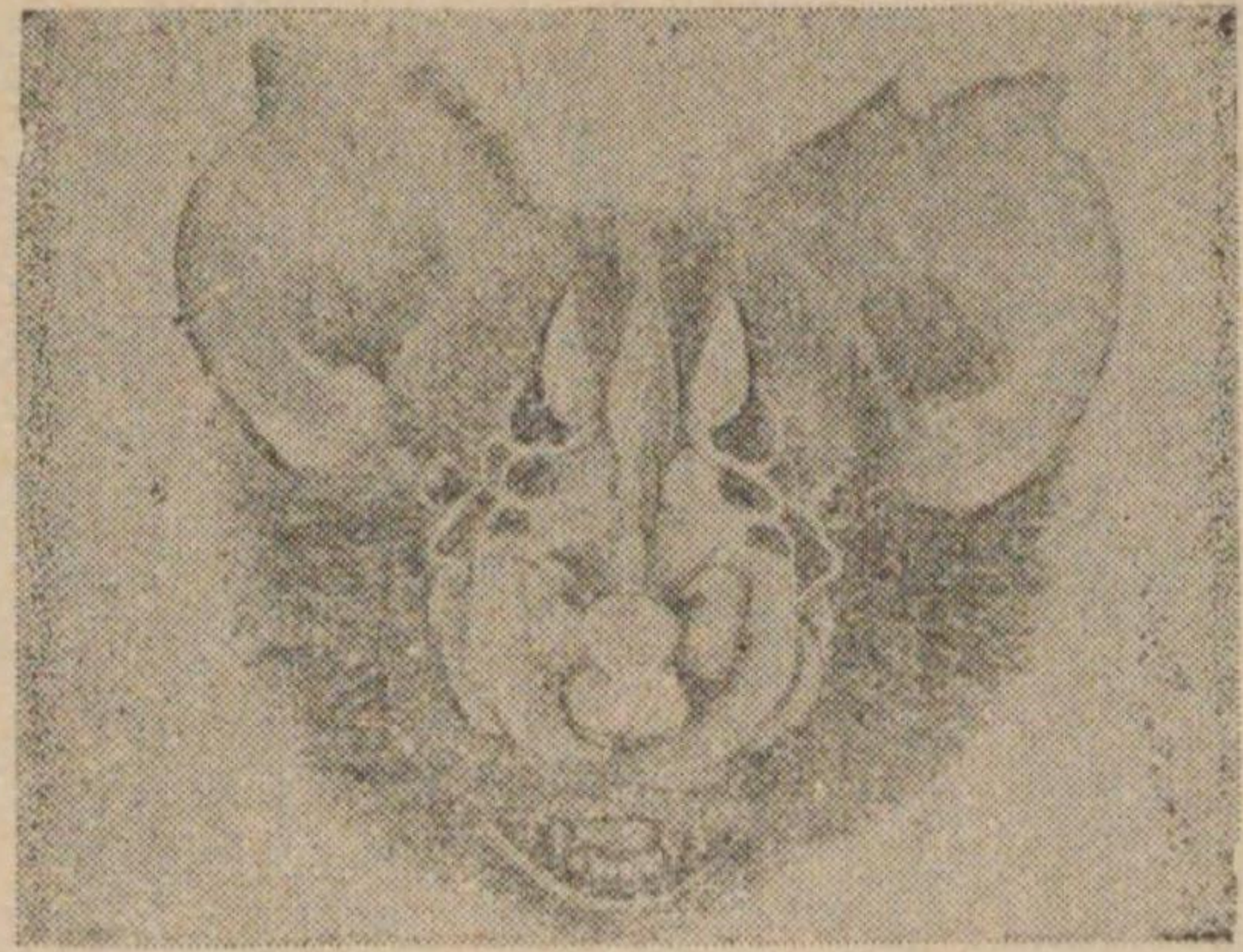
と同じ位又は凌ぐ位で、前膊長八二・五—九七、頭胴長一〇三—一一〇、尾長五三—七〇、後足長二九—三五、耳長二九—三五耗位だが、體色がもつと鮮やかで、橙褐色（腹面鈍黄褐色）である。ブラットカグラカウモリ（*H. pratti* Thomas）は大きさは前種に似たものだが、左右の副鼻葉は二皺で、上鼻葉は雄の方がずつと大きい。脛骨が長く三四耗も有り（前種では二六耗位）、頭骨も大いに前種と異なる。前膊長八三耗。四川省、福建省、浙江省から知られた。ハイナンカグラカウモリ（*H. potensis* Allen）は前種よりは小形で前膊長六〇、後足長九、頭胴長六二、尾長二八、頭蓋全長二三・九耗位で、副鼻葉は三皺、體背面は赭褐色、腹面はその淡い色のもので海南島の産。シナヒメカグラカウモリ（*H. gentilis sinensis* Arderson）は支那産神樂蝙蝠中最も小形の種類で、前膊長四四耗位、副鼻葉もないのでまあ穏やかな顔の方である。背面の體色は褐色がかつた個體と黄色がかつた個體とが有る。腹面は前者では灰白色、後者では淡黄色である。福建省、海南島、雲南省から知られて居る。

キーラーカグラカウモリ（*Triaenops wheeleri* Osgood）は上鼻葉の上端が三尖に分裂して居る所から屬の學名が由來したのもので、鼻の周邊の鼻葉も却々圖案的に

も美しい複雑なものである。前膊長四二、頭胴長五五、尾長三九耗位、後足長九、背面は褐色のと煤色のとがあり腹面はもつと淡色である。支那では貴州から採れた

三頭が知られただけだが、佛印のトンキンにも棲む。

ヲナシカグラカウモリ（*Coeops inflata* Miller）は鼻葉の鼻孔より下の部分が左右に分裂し、上鼻葉は心臟形で尾は微小、耳は迎珠が廣く高く伸びて居るために一寸漏斗状になつて居る。小形で前膊長三五・六、頭胴長三四、耳（内）長一四耗位。支那では福建省の延平府で採れて居るが臺灣にも近似のものがある。シナヲナシカグラカウモリ（*C. sinicus* Allen）は四川省から採れた一頭で記載されただけだが、前膊三五・五、



第七十四圖 キーラーカグラカウモリ

頭胴長三八、耳長一六耗で、體色黒褐色で毛長く（中背で一耗位）、褐色な福建のとは別種に相違なくと云ふが、共に印度のダージリン邊の *C. frithii* Byth と近縁の種である事も争はれない。



## (ハ) 菊頭蝙蝠科

耳の迎珠が可なり伸びて居る事や後足の趾が拇趾(二節)以外は三節から成る事でも神樂蝙蝠科と違ふが、鼻葉の形も違ふ。即ち頬に廣がる副鼻葉は無いが、有つても貧弱なので、幅より長さの方が勝り、三葉から成る。鼻孔と上唇との間の馬蹄状の部と鼻孔の上に突き出た「鞍」を圍む肉質のくしゃくした皺と、上方の尖つた部「戟」とがそれである。西半球には産しない。日本にも種類が少なくなすが、支那にも九種程知られ、それがまた亞種に分けられたりして少なからぬ數になる。

キクガシラカウモリ屬 (*Rhin. I. phus*) だけを含み、齒は三十二本  $\left( \begin{array}{l} 1.1.2.3 \\ 2.1.3.3 \end{array} \right)$  である。

シナアカキクガシラカウモリ (*R. rouxi sinicus* Anderson) は赭褐色で、肩から後背に向つてV字形の暗色の斑あり、鼻葉の馬蹄状部の左右に小副鼻葉有り、第三指の第二指骨が他の種程伸びて居ないで第一指骨の一倍半位である。前膊長四四—四五・三、後足長九—一〇耗位。支那南半に廣く分布し、雲南、四川、湖北、浙江、福建の諸省から採れて居る。ヒマラヤキクガシラカウモリ (*R. affinis himalay anus*

Anderson) は副鼻葉退化して疣状となり、第三指の第二指骨は伸びて第一指骨の一倍半より遙かに長い。色は背が暗褐で腹が緑茶色の個體や、背が茶色で腹面が淡赭色の個體も有る。前膊長五〇、後足一三、頭胴長五八、尾長三五、耳長二〇耗位。四川省、雲南西北部、湖北省などから採れた。之れに似て尾、脛骨がやゝ長く、鼻葉の馬蹄部がやゝ廣いナンシキクガシラカウモリ (*R. a. macrurus* Anderson) は福建省、浙江省に産し、又色が前二亞種と違つて濃赭褐色で馬蹄葉の廣いとよふハイナシキクガシラカウモリ (*R. a. hainanus* Allen) は海南島に産する。日本と同じキクガシラカウモリ (*R. ferrum-equinum nippon* Temm.) も福建省、山東省、四川省から採れて居り、前膊長五七・二—五九・三、頭蓋全長二三・二—二五耗位。體色煤けた褐色。外形は之れと殆んど似てやゝ體大きく齒や頭骨は比較的小さな *R. feratatus* Hodgson がネパールや雲南省西北部麗江附近の高位の高地から知られて居る。前膊長五九—六三耗位。ショートトリヂキクガシラカウモリ (*R. lepidus shortridgei* Anderson) はやゝ小形で前膊長四三耗位、第三指の第二指骨は第一指骨の一倍半よりは短く、馬蹄葉は上唇全部を被ひかくさず、背の色は暗褐又は橙褐色。頭胴



長五一、尾長二〇、後足長九、耳長二〇耗位で、四川省の西南部やビルマ東北部の産。オキナハコキクガシラカウモリ (*R. corutus punilus Anders n*) は日本の琉球にも居るが、支那にも福建省や廣東省北部や四川省にも分布して居る。前膊長三八—三九・七、第三指の第二指骨は第一指骨よりやゝ長いだけ。體背の色淡褐色。シセンヒメキクガシラカウモリ (*R. bythi szechwanus Anderson*) は支那産菊頭科中最小形のもので前膊長三七耗位。頭胴長三八—四二、尾長一七—二四、後足長八一、耳長一五—一七耗位で背の色は褐色、腹面は反つて赤い。四川省重慶、湖北省宜昌の邊から採られて居る。ハイナンヒメキクガシラカウモリ (*R. b. parc s Allen*) は大きさは前亞種と同じ位だが背面濃赭褐である。海南島産で人家にも坑にも巢くふとふ。フツケンヒメカウモリ (*R. b. calidus Allen*) も大きさは同じ位、背の色は橙褐色で腹面は淡紅黄色で、福建省から知られて居るが、恐らく南支にはもつと廣く分布して居るであらう。

ピアソンキクガシラカウモリ (*R. pears ni pears ni Hirstfield*) は印度のダージリンから雲南省、四川省中部にまで分布する中形のもので、前膊長五五耗で其の他體部の大きさもキクガシラカウモリに似て居るが、鼻葉が違ひ「鞍」部の基部がコップ状に廣がらず、端がなほ細まつて居る。之れの變種フツケンキクガシラカウモリ (*R. p. chinensis Anderson*) は脛骨が短くて二六耗(前亞種では二九耗)とふふので、他は大して違はぬ。福建省の北部の産。

ハナクボキクガシラカウモリ (*R. episcopus episcopus Allen*) は鼻葉の鞍の基部が廣がり且つ外縁が高まつてコップ状に中凹になつて居る中形の暗灰色のもので、前膊長四七・五耗、耳は割合に大きくて二六耗もあり且迎珠が目立つて廣い。四川省東部の産。之れの變種コールドエルキクガシラカウモリ (*R. e. coldwelli Allen*) は福建省の産で、やゝ小形であつて、前膊長四三耗、背の色も橙褐色である。

ハナビロキクガシラカウモリ (*R. lan sus lan sus Anderson*) は鼻葉の「鞍」部の基部が翼状に擴つて居り、馬蹄部も上唇全部を被ひ、大形で前膊長六九—七一・五耗も有る。背の色は黒い灰色で毛は綿毛状でジャワやフィリッピンに同系のもものが居る。福建省から採れて居るが、南支にはもつと廣く分布して居るであらう。ハイナンハナビロキクガシラカウモリ (*R. l. spurcus Allen*) は之れの變種で體色の暗褐



色なのと頭蓋骨が遙かに大きい點で分けられた。前膊長七〇—七一耗、海南島の産。  
オホミミキクガシラカウモリ (*R. rex* Allen) は前膊長五八、頭胴長五五—六五、尾長三二—三八、後足長一〇—一三耗に對し耳長三三—三五耗の大耳で、鼻葉も「鞍」部の基部が翼狀に擴つて居るのみならず、皺が複雑で、馬蹄部も上唇よりもつと擴り、毛は綿毛狀でなくて普通である。背の色は橙黄色である。四川省の東南部(酉陽邊)から知られたのみである。

(ニ) 挿尾蝙蝠科

此の科の蝙蝠は顔に鼻葉の皺が無く、尾は尾膜の上面に現れ、之を越えて後方まで伸びて居るもので且つ示指には掌骨は有るが、指骨の無い類である。後肢は長く腓骨は細い。熱帯、亞熱帶的なもので日本では臺灣とカロリンとに合せて一種二亞種知られるだけであるが、支那には別屬の一種が産する。

クロヒゲサシヲカウモリ (*Taph. zues melanopogon* Temm.) は日本領のサシヲカウモリ屬 (*Emball-nuris*) と齒式が違ひ  $\frac{21.2.3}{31.2.3}$  ではなくて  $\frac{1.1.2.3}{21.2.3}$  である。篋狀の耳珠が有る。體色は背腹共暗褐であるが、各毛の基部は白。頤に小數の黒い長毛



第七十五圖 クロヒゲサシヲカウモリ

(鬚) 有る。前膊長六四、後足長一二—一四、頭胴長七六、尾長二—二五、耳長二—二一・五耗位。支那では雲南省南部から採れて居るが分布の廣いもので、佛印、印度、マライ半島、ボルネオ、ジャワ、フィリッピン等からも採れて居る。

(ホ) 大耳蝙蝠科

やはり尾は尾膜より後方に伸び出て居るが、尾膜の上面からでなくて後端から突出して居るのであり、示指に第一指骨有り、後肢は短くて太い。耳が大きくて左右が内縁で接續して居り、上唇に上下に向ふ澤山の皺が有る等色々の點で前科と違ふものである。東西兩半球の熱帯、亞熱帯に分布するが、東印度や支那のは齒が三十本  $\frac{1.1.2.3}{21.2.3}$  である。

キタオホミミカウモリ (*Nyctinomus tenuis insignis* Blyth) は

前膊長六〇—六四耗位もある大形のもので、上唇の縦溝は左右各七個位あり、頭胴長八二—九三、尾長四七—五三、耳長二九・五、耳幅二一・五、後足長一〇耗位。





第七十六圖 オホミミカウモリ属の一種

背腹共やや褐色である。はじめ福建省の厦門で知られたのであるが、(N. Latouchei Thomas)も同種中に包括すべしとするなら臺灣海峡や河北省(秦皇島)からも一頭づつ採れて居る。雲南省北西部のメコン河崖で採れたのはやや色が暗色であるといふのでトマスは別亞種であるとし、*N. t. coecata* といふ學名を與へて居る。

ハイナンオホミミカウモリ (*Chaerephon plicatus* Buchanan-Hamilton) は門齒の前の上顎前端の正中に凹みが無いといふだけが前屬と別屬とされる點で、外形上は屬を別にする程の違ひはないのである。此の種は印度、マライ半島等に廣く分布するのであるが、支那では海南島で採られたのみである。前膊長四九・七—五〇・四耗位。背面の色は濃暗褐色、腹面はや、淡色である。

## (一) 雛蝙蝠科

日本の本土の小蝙蝠類は鼻葉の有る菊頭蝙蝠科以外のは皆此の科のものである程

温帯には普通の蝙蝠類で、鼻葉なく、耳には耳珠があり、尾は尾膜から外に突出した遊離部はまあ持たぬ類である。支那からは十五屬、日本からは十四屬知られたといへば日本の方が割に多い様に見えやうが、實際の種類の數は支那の方がずつと多いのは地理上から當然の現象といふべきである。

ホ、ヒゲカウモリ (頬髭蝙蝠) 屬 (*Myotis*) は齒數三十八本 ( $\frac{21.3.3}{31.3.3}$ ) で、耳

は幅より長さの方が優り、その下縁にポケット無く第五指は第三、第四指の掌骨より遙かに長い。種類が多いので、大きさの順に述べてゆく事にするが、ナンシホ、ヒゲカウモリ (*M. chinensis chinensis* Temes) は前膊長六四耗、頭胴長九五耗といふ大形で、背は暗緑褐色、腹面暗灰色。産地福建省、浙江省、雲南省。之れの變種で腹が一樣に灰色なチンキンホ、ヒゲカウモリ (*M. ch. lu ctuosus* Allen) は四川省東南部の産。モウコホ、ヒゲカウモリ (*M. myotis ancilla* Thomas) はヨーロッパの *M. myotis* のや、淡色で小形で耳もや、小さい變種と見做されるもので、前膊長五九—六二、頭胴長七五、尾長五六、耳長二一、後足長一二耗位、陝西省南部、内蒙察哈爾省の多倫の邊から採れて居る。シナクロアカカウモリ (*M. formosus ruf-niger*



Tomes) は前膊長五〇耗内外で、頭胴も橙褐色、翼も各指に沿つた部や基部は此の色で尾膜も此の色で、翼は此の橙褐色の部と黒褐色の部とから成るために目立つ種類である。支那では上海邊や福建省から採れて居る。臺灣には之れとよく似た變種が居る。ペキンカウモリ (*M. pequinus* Thomas) も前膊長五〇耗位の大形者で、毛は短く(五耗)て鶯絨狀で、背は灰色、腹面灰白色、北京の西三十哩邊の洞で採れた。コアシホ、ヒゲカウモリ (*M. frater* Allen) は北米西部に類似種を有する小耳長脛小足の蝙蝠で、前膊長三九、耳長一一、後足長八、脛骨長二〇、尾長四七耗位の暗赤色の者で福建省の延平附近の山二千五百尺位の所から採れた。フトアシホ、ヒゲカウモリ (*M. fimbriatus* Peters) も前膊長は三九耗位だが、脛骨は一五耗位きりなく反對に後足長は一〇・四耗位、耳長は一五耗といふ點でも前種と識別される。やはり福建省の延平や厦門から採れて居る。ダウベントンカウモリ (*M. daubentoni* Kuhl) は前膊長三五耗内外で、大きさは後述の *M. mystacinus* と同じ位だが、後足が明かに大きく、頭蓋骨も廣く、上臼齒の原突起の側に原小突起が加つて居る點でも違ふ。背の色暗淡褐色、腹面黄灰色。北歐から庫倫邊までの北蒙林地に分布する。

ヨーロッパホ、ヒゲカウモリ (*M. mystacinus mystacinus* Kuhl) も前膊長三二—三五、頭胴長四三耗位で大きさは大體前種位だが、後足が明かに短くて六・八—八耗である。背面は黄褐色、腹は暗灰色である。支那では河北省、福建省で採れて居る。プルツェワルスキーホ、ヒゲカウモリ (*M. m. przewalskii* Bobrinski) は之れの沙漠的變種で淡赭色の背と灰白色の腹とを有して居る。山西省包頭邊のものである。ハイイロホ、ヒゲカウモリ (*M. laniger* Peters) は前膊長三四—三五、後足長七、九—八耗位といへば前種位の大きさであるが、毛短く、背の色は煤灰色である。福建省の諸部、海南島、雲南省等から採れて居る。シセンホ、ヒゲカウモリ (*M. muricola noupinensis* M.F.) は前膊長三三耗位の小形種なるのみならず、後足纖細で(七・五耗) 距に龍骨突起が有るので識別容易である。毛は絹糸狀で、背の正中部は黄褐色で、側方は煤黒色をして居る。四川省の中部や雲南省の西北部に産する。ダビッドカウモリ (*M. davidii* Peters) は前膊長三一・七、後足長八・四、耳長一五・三、耳珠長七耗位の小形のもので、色彩は一寸變つて居り、背の毛は黒くて先が白い。北京からと海南島からと知られて居る。



オホアシカウモリ (大足蝙蝠) 屬 (*Rickettia*) は齒式其の他類髭蝙蝠屬に似た點が多いが、後足が長大で脛骨長と殆んど同じ位で、爪も強大な曲つた爪であり、尾膜も脛骨の腹側に終つて居る。リケットオホアシカウモリ (*R. pilosa* Peters) は前膊長五五—五六・五、後足長二〇、耳長一九、耳珠長六・八、距長二一・五耗位で、背面淡褐色、腹面白である。福建省から山東省までの東海岸から知られて居る。

イヘカウモリ (家蝙蝠) 屬 (*Pipistrellus*) は齒數三十四本 (2.1.2.3 / 3.1.2.3) で、第五指は第三指や第四指の掌骨より遙かに長し。耳の形態は類髭蝙蝠屬と大差なし。イヘカウモリ (*P. abramus* Temm.) は日本にも人家の近くに廣く分布する小形の種で、前膊長三一—三四、後足長七—九耗、背の色は暗褐色のや灰褐色のや居るが、陰莖骨が長くて二曲を有する。夜水邊に降下せる際に採り易い。支那では東半では北にも南にも普通であるが四川省まで、それより西からは採れて居ない。コイヘカウモリ (*P. tralaticus* tramatus Thomas) は色は前種と似て居るが、もう少し小さくて、前膊長三〇、頭胴長三八、尾長二八・五、耳長一〇・五耗位なるのみでなく陰莖骨が短くて眞直な點で前種と違ふといふ。福建省の延平で採れただけである。クロイ

ヘカウモリ (*P. pulveratus* Peters) は大きさも前二種よりや、大きくて、前膊長三四—三六、耳長一二—一四、後足長七—八、尾長三七—三八耗位であるが、色も背面は殆んど黒くて、先の淡色な毛が散在するが大した影響を及ぼして居らぬ (腹面ではかゝる毛が多いので淡色だが)。福建省一圓、廣東省、雲南省の西北部等から知られて居る。

ヤマカウモリモドキ (擬山蝙蝠) 屬 (*Is*) は齒式は家蝙蝠屬と同様だが、上外側門齒は齒帯はよく發達して居るが、齒冠の突起は極めて低い。大きさや第五指の短し點で山蝙蝠屬に近似して居る。即ち第五指は第三指の第一指骨の三分の二位の處までの長さ等に等しい。ヤマカウモリモドキ (*Is* Thomas) は前膊長七二、後足長一八、頭胴長八九—一〇〇、尾長六一—六三耗といふ大きさで、背は黒褐色、腹面は暗褐色である。湖北省南部、四川省南東部、貴州、南京等から採れて居る。

ヤマカウモリ (山蝙蝠) 屬 (*Nyctalus*) も大形で齒式は前屬同様 (2.1.2.3 / 3.1.2.3) だが、第五指は第三指又は第四指の掌骨と等長なので、翼の幅が狭い。ヤマカウモリ (*N. aviator* Thomas) は日本の本土以北、朝鮮、滿洲にも産するが、支那でも山東省か



ら採れて居る。前膊長五八—六二、後足長一一・五—一三・五、耳長一八—二一耗位。背の色は暗赤褐色で腹面は枯葉色である。フランシイコヤマカウモリ (*N. ctuia plancyi Gerbe*) は前膊長四九、後足長一一、頭胴長七〇、尾長四五、耳長一九耗位で背面褐色、腹面淡褐色で北京邊から採れた。ナンシコヤマカウモリ (*N. velutinus Allen*) は大きさは大體前種と似たもので前膊長四九—五〇・五耗位だが背の色がもつと暗褐色である。福建省、浙江省、四川省から採れて居る。

ホリカハカウモリ (堀川蝙蝠) 屬 (*Eptesicus*) は齒が三十一本 ( $\frac{21.1.3}{3.1.2.3}$ ) といふ、吻が短くて厚い。アンダーソンホリカハカウモリ (*E. anders ni Dobson*) は前膊長五〇—五七、後足長一〇—一一・五、頭胴長六四—八二、尾長四二—五二、耳長一八—一九・五耗位で耳は廣い方である。雲南省、福建省、浙江省から知られ、背の色は暗緑褐色である。ホクシホリカハカウモリ (*E. serotinus pallens Miller*) は前者に準ずる大きさで、前膊長四九—五二、後足長一三・八耗位であるが、體色がもつと淡いオリーブ褐色である。甘肅省、陝西省、河北省、熱河省、山東省から採れて居る。アラシヤンホリカハカウモリ (*E. alashanicus B. brinski*) は前膊長三六—三

七・五耗、後足長(爪を除き)七・九耗位のやゝ小形なもので、背色は黄赭色である。外側上門齒比較的長くて他上門齒と同一平面に達せる事も本種の一特徴である。寧夏省アラシヤンの産。ゴビホリカハカウモリ (*E. niss ni g. biensis B. brinski*) は前膊長四〇耗、頭胴長五七—六五、尾長四〇—四五、後足長一〇、耳長一〇—一五耗位で、ゴビ荒原の棲者なためだらうが、背面は黄赭色で、喉は白味がかり、胴腹は毛の基部は褐色で先は白い。ゴビ沙漠には可なり廣く分布して居る。

ヒナカウモリ (雛蝙蝠) 屬 (*Vespertili*) は齒數は堀川蝙蝠屬と同じだが、耳は長さより廣さが優り、耳の入口の隅(下縁)にポケットが出来て居るものである。キタヒナカウモリ (*V. murinus murinus L.*) は前膊長四三—四四、後足長九・二—一〇、頭胴長五九—六二、尾長四〇—四四、耳長一五耗位のもので、背面暗黒褐色、腹も同じ様な色だが喉や腋下は白い。支那では甘肅省から採れたといふが、滿洲や北鮮にも採れた記録が有る。ヒナカウモリ (*V. m. superans Thorras*) は前のよりやや大きくて全身黒褐色な變種といはれるもので日本の本州からも採れたが、支那でも河北、山西、湖北、四川の諸省から採られて居る。



イボアシカウモリ (疣足蝙蝠) 屬 (*Tylonycteris*) は齒は三十本  $\left(\begin{smallmatrix} 1.1.1.3 \\ 3.1.2.3 \end{smallmatrix}\right)$  で足の拇趾の基部と蹠とに肉質の疣が有り、頭蓋骨が極めて扁平で廣い小形の類で、體色も黄色を帯びて居る。日本からは知られて居らぬが、印度、東印度諸島、フィリッピンの外、支那南部からも採れて居る。シナイボアシカウモリ (*T. pachypus fulvidus* Blyth) は前膊長二八、後足長六、頭胴長三五、尾長二九、耳長九耗位で、體色暗黄色である。マライ地方にも棲むが、廣東省の山地の竹其の他の林にも棲む。晝は竹の洞穴に潜むといふ。ウンナンイボアシカウモリ (*T. robustula* Thomas) は前膊長二六—二八で前種とよく似て居るが、體色もつと暗色で頭骨が頑強に出來て居り、體が肥つて居るといふ。雲南省のビルマ境の産であるが、或は前者の個體趨異に過ぎぬのではないかと稱せられる。

シロマダラカウモリ (白斑蝙蝠) 屬 (*Scotomanes*) は褐色の地色に白斑の散在する大形の蝙蝠で齒は三十本  $\left(\begin{smallmatrix} 1.1.1.3 \\ 3.1.2.3 \end{smallmatrix}\right)$ 。印度のダージリンやアッサムにも産するが支那の福建省の西北部のはシナシロマダラカウモリ (*S. ornatus sinensis* Thomas) と言はれ、前膊長六〇耗位で印度のより少し小さい變種である。

カシラダカカウモリ (頭高蝙蝠) 屬 (*Scotophilus*) は人家附近によく見られる事家蝙蝠屬に似て居るが、前膊長五〇以上といふ大形の類で齒は三十本  $\left(\begin{smallmatrix} 1.1.1.3 \\ 3.1.2.3 \end{smallmatrix}\right)$  であり、白齒の突起も違ふ。一産の仔數はイヘカウモリのように二疋位が普通だとす。ハイナンカシラダカカウモリ (*S. beathii insularis* Allen) は前膊長六四—六七耗もあり、背面緑褐色、腹面は淡黄褐色である。海南島の産。キュールカシラダカカウモリ (*S. kuhlii* Leach) は前膊長五八—六二耗、背面の色一層濃く腹面は淡橙黄色で、尾膜及び體側膜後方には白い縁の有るものが有る。印度から雲南省西南部まで分布して居る。

チャイロカシラダカカウモリ (*S. temminckii consobrinus* Allen) も海南島の産であるが、背の色黄褐色で、腹面の色はもつと淡く、前膊長五〇—五五耗といふやゝ小形でありジャワ等に産する種の變種である。

チチブカウモリ (秩父蝙蝠) 屬 (*Barbastella*) は左右の耳が連絡して居るので昔は兔蝙蝠屬中に入れられて居たが、耳が頭より短くて幅の廣い事や、齒が三十四本  $\left(\begin{smallmatrix} 2.1.2.3 \\ 3.1.2.3 \end{smallmatrix}\right)$  で兔蝙蝠のより二本少ないので別屬とされたのである。チチブカウモ



リ (*B. dahlingensis* Hodgson) は和名の示す如く日本でも秩父地方から採れた事があるが、學名の示す様に印度にも産するものである。支那でも雲南省、四川省、甘肅省等の高地には少なくないと言はれる。前膊長四一、後足長八(爪を含みて)、耳長一九、頭胴長五一耗位で、背腹面共に暗褐色である。

ウサギカウモリ (兔蝙蝠) 屬 (*Plecotus*) は前屬と同様左右の耳が連絡して居るが耳は目立つて長いので兎の耳の様な感じであり、齒は三十六本  $\left( \begin{smallmatrix} 3.1.2.3 \\ 3.1.3.3 \end{smallmatrix} \right)$  である。キタウサギカウモリ (*P. auritus auritus* L.) は北歐のと同亞種で、支那でも蒙古、甘肅といふ様な北部に分布し、前膊長四〇—四三・五、耳長三一—三四、後足長八一・五、尾長四三—四九耗位で、背面暗褐、腹面黄灰色である。コッロフウサギカウモリ (*P. a. kozłowi Bobrinski*) は色は前者と同様だが、やゝ大形なのであつて前膊長四四—四六、耳長三四—三八・五、尾長四六—五二耗位である。青海省のザイダム東部、中央ゴビの邊の産。シセンウサギカウモリ (*P. a. ariel* Thomas) は今は西康省に入つて居る打箭爐の邊から採れた。腹面も暗褐で背面はもつと濃暗なものにつけた名であるが、あの邊は濕氣の多い高地だから色が黒いのであらう。

ユビナガカウモリ (長指蝙蝠) 屬 (*Miniopterus*) は齒はやはり三十六本  $\left( \begin{smallmatrix} 2.1.2.3 \\ 3.1.3.3 \end{smallmatrix} \right)$  であるが、耳は左右分離して居り、第三指の第二指骨は第一指骨の三倍程もある長指で、従つて翼の幅が廣いわけである。シナユビナガカウモリ (*M. schreibersii chinensis* Thomas) は背腹共煤けた様な褐色だが腹面の方がやゝ淡い。前膊長四七—五〇、後足長一四、耳長一三耗位である。洞穴に多いもので、河北省からも浙江省からも採れて居る。コアシユビナガカウモリ (*M. s. parvipes* Allen) は前種より後足が小さいのと、背と腹の色が殆んど濃淡の差なく、一圓に濃暗褐でやゝ赭味を帯ぶといふ。前膊長四七—四八・八、後足長八・七—九・八耗位。福建省や海南島の産。ヒメユビナガカウモリ (*M. pusillus* Dobson) は印度にも産するが海南島からも採集され、前膊長四〇—四一・五、後足長七—七・六耗といふ小形なもので、背腹共に暗褐色である。

ツツミミカウモリ (筒耳蝙蝠) 屬 (*Keivoula*) は齒は三十八本  $\left( \begin{smallmatrix} 2.1.3.3 \\ 3.1.3.3 \end{smallmatrix} \right)$  以下前臼齒が同じ程の大きさな事や上顎の第二、第三前臼齒もあまり小さくない點も一特徴であるが、外形でいふと耳が細長い耳珠を左右から圍んで筒の様になつて居り



前面だけが広く開いて居る。クロアカツツミミカウモリ (*K. picta bellissima* Thomas) ジャワ産のものや、大形で毛の長い變種だとされるものだが、體は美しい橙紅色で、その色は指に沿つて翼にも及んで居るが、翼の他の部は黒褐な事、丁度前出の臺灣などのクロアカカウモリに似て居るが、ずつと體が小さく前膊長三九耗位である。海南島から採れた。フツケンツツミミカウモリ (*K. hardwickii depressa* Miller) もジャワのハードキツツミミカウモリの變種とされるもので、背の色は一様に煤けた褐色である。前膊長三三—三四・五耗位。福建省の産である。

テングカウモリ (天狗蝙蝠) 屬 (*Murina*) は鼻孔が吻からの管状突起の先端に開いて居り、腿間膜などに著しく毛あり、齒は三十四本  $\left( \begin{smallmatrix} 2.1.2.3 \\ 3.1.2.3 \end{smallmatrix} \right)$  である。シロハラテングカウモリ (*M. leucogaster* M.E.) は前膊長四一耗位、背の色は赤褐色で、腹面は白い。四川省中部からと福建省西北部とから採れて居る。クリイロテングカウモリ (*M. hutt ni rubella* Thomas) は背の色は前者と同様で腹面はやゝ淡色ではあるが白くない。前膊長三七・五耗位である。福建省西北部から採れて居るが、原種は印度産であり、滿洲からも *M. h. fuscus* Sowerby とする變種が採れて居るの

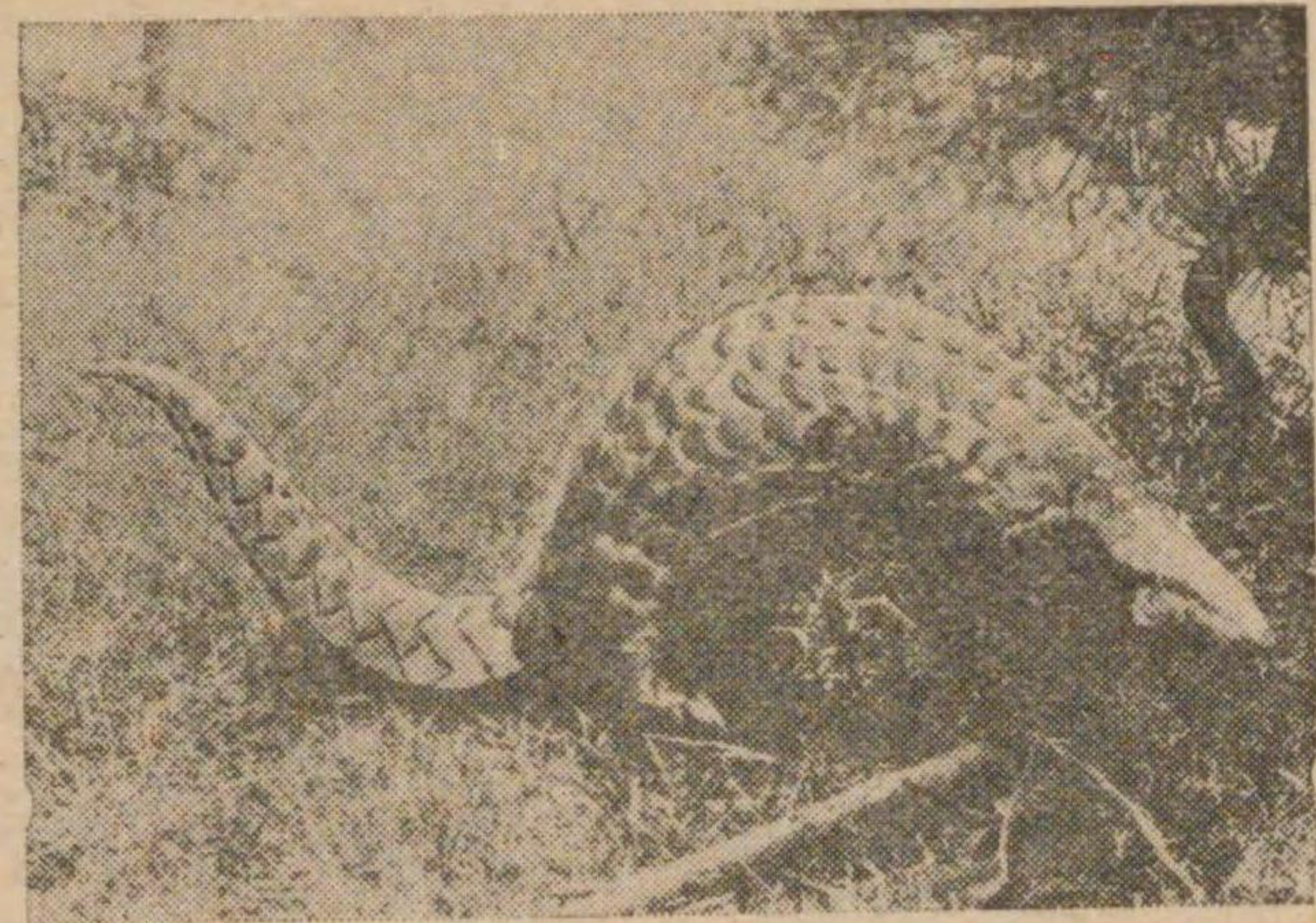
を見ると種としての分布は随分廣いものと言へる。アカテングカウモリ (*M. cyclotis* Dbs n) は前膊長三三耗位で小形なものであるが背の色が鮮やかな赤錆色である。印度にも産するが、海南島からも採れて居る。キイロテングカウモリ (*M. aurata* M.E.) は前膊長二八耗の小形種で、背の色は黄金色で、腹は灰白色である。四川省の中部から知られて居る。



## 第十章 支那の有鱗類

東半球の所謂貧齒類は常關節類だけであつて椎骨間の關節法は普通であり、鎖骨は無い類であるが、併し蟻や白蟻を主食とする點其の他で西半球の異關節な貧齒類と遠い關聯の有るものなる事は争はれない。アフリカのアドヱークの類は管齒類としてもつと遠く隔てられたので、此の類に入る者は、頭胴や尾の背面や側面が扁平な鱗で屋根瓦狀に被はれた所謂穿山甲の類だけである。毛も勿論有るが、鱗と鱗との間から僅かに顔を出して居るに過ぎない。手は爪の甲を地に着けて歩くのも變つて居るし、口に齒が無くて蚯蚓の様な長い舌を出して蟻や白蟻を憩めるのも面白い。支那では陵鯉とも言つて鯉の様に美味だとして居る相である。又甲鱗は煎じるか炮くかして惡瘡、風瘡、通經、乳出し等の藥に使ふ相だが、犀の角と同様角質なのだから犀角が效くなら之れも效くかも知れない。亞細亞の有鱗類は背の正中線上の鱗が尾端に至るまで一列で、尾背でも二列になつて居らぬ點でアフリカのと亞科を別

として穿山甲亞科 (Maninae) とされて居る。支那のは耳の大小によつて二屬に分けられる。



第七十七圖 穿山甲 (臺灣産)

シナセンザンカフ (支那穿山甲) 屬 (Manis) は、耳が大きく、雄には肛門の後に窪が有り、鼻骨は後方が前方より擴がつて居るもので、シナセンザンカフ (*M. pentadactyla daimanni Sundevall*) は臺灣のと同種中の小形變種とされるもので、乾皮で測定した所では全長七二〇—八一五、その内尾長が二七〇—三三〇耗だといふが、丸のままの測定では臺灣のより三分の一減位であるトスキンホーは言つて居る。頭蓋骨全長が七四—八五耗といふから臺灣のより小なり。揚子江流域以南には廣く分布し、安徽省南部

から福建に及び、舟山列島にも居るといふし、雲南省にも居るが、四川省には居ない。ハイナンセンザンカフ (*M. p. pusilla Allen*) はやはり臺灣のものの一變種



であつて大きい事は本陸のより大きく全長七五五—九二〇、尾長二九〇—三五〇耗、頭蓋全長八二—九四耗といふのである。穴を掘る名手で、往々墓の下にまで達する穴を掘り、住民は犬を使つて捉へるといふ。つまり犬に吠えつかれると丸くなつて静止するので捕まへられるといふ。陵鯉の陵は墓の事であらう。

ミミナシセンザンカフ(インドセンザンカフ)(印度穿山甲)屬(Phatages)は耳は巖隆起たるに過ぎない位で、雄にも肛門の後の窪なく、鼻骨の後部も前部より擴つて居ない。ミミナシセンザンカフ(Ph. crassicaudata Geoffroy)は尾の幅が廣くて端もあまり細くない事で一見して前記の類と識別される。體も大きくて全長一米近く、尾長も四五八耗位、頭蓋全長一〇一・五耗位といふ。印度やセイロン島にも居り、支那では雲南省の西端に入り込んで居るだけである。

## 第十一章 支那の淡水海豚

淡水海豚類は鯨目齒鯨亞目中の一科をなすものではあるが、分布も種類も貧弱で支那以外では南米のアマゾン河とオリノコ河とに知られるのみである。化石としては北米からも出て居るから昔はもつと分布の廣かつたものには相違ないが、それにして揚子江水系の洞庭湖及びその湖口附近に一種現在棲息して居るのは面白い。此のシナマミズイルカ(Lip. tus vexillifer Miller)は二米半位の、吻の長い背鰭の有るイルカで、夏には湖の水が多いので見られ難いが、冬には四十八呎も水位が低くなるので、細い水溝を三、四頭又は十頭位泳いで居るのが見られる。目も殆んど見えぬと言つてもよい位であるから、泥中に魚をめくら探しにして食つて居るものらしいが、胃に一升二合餘りの鯰骸が入つて居つたとホイは記して居る。住民の言によると晩春に水量が増して來ると此の海豚は水の澄んだ小流に遡つてゆき其處で交尾すると言ふ。木村重氏が洞庭湖ではイルカを湖神として獲らないので船の側まで



靈長目

(一) 手長猿科

1. *Hylobates* Illiger, 1811 .....テナガザル屬

*H. concolor* Harlan .....クロテナガザル

(海南島)

*H. hoolock* Harlan .....マユジロテナガザル

(雲南省, ビルマ, アッサム)

(二) 瘠猿亞科 (獼猿科の)

2. *Rhinopithecus* M.-E. 1868—74 .....イボハナザル屬

*Rh. roxellanae* M.-E. ....イボハナザル

(四川省, 西康省, 甘肅省)

*Rh. bietii* M.-E. ....ビートイボハナザル

(雲南省)

3. *Pithecus* Geoffroy et Cuvier, 1795 .....ヤセザル屬

*P. nemaus* L. ....ハイナンヤセザル

(海南島, 佛印)

*P. francoisi* Pousargès .....クチギレヤセザル

(廣西省, 廣東省)

*P. obscurus barbei* Blyth .....コシグロヤセザル

(雲南省, ビルマ)

(三) 獼猿亞科 (獼猿科の)

來て、おあいそにでんぐりかへつて見せるといふのは此の種類であらうか。氏が湖北省の宜昌の邊まで遡るイルカが居るといふイルカは併し此の種類でなくて、瀬戸内海にも來るスナメリ (*Nemertis phocaenoides* Cuvier) であるとされて居る。後者は淡水海豚科のものではなくて、イルカ科、スナメリ亞科のもので、海にも勿論居る長吻も背鰭もない六尺以下の種類である。骨格で比較すれば勿論異物で、前者では頸椎が個々分離して居り齒が多くて齒の基部が廣がつて居るし、後者では頸椎が或る程度癒着し、齒が少なく齒の基部が廣がつて居らぬし後頭部の形も異ふ。



偶蹄目

(一) 牛亞科 (牛科の)

- 7. *Phoepagus* Gray, 1851 .....ヤク属
- Ph. grunniens* L. ....ヤク
- (西 藏)

(二) 山羊亞科 (牛科の)

- 8. *Capra* L., 1758 .....ヤギ属
- C. sibirica* Meyer.....シベリアヤギ
- (アルタイ山脈, シベリア)

- 9. *Ovis* L., 1758 .....ヒツジ属
- O. ammon davidi* Przewalski .....アルガリ(盤羊)
- (山 西 省)

- 10. *Pseudois* Hodgson, 1846 .....エセヒツジ属
- P. nayaur szechuanensis* Rothschild .....エセヒツジ
- (南蒙, 甘肅省, 陝西省, 四川省, 西藏, ネパール)

(三) 青羊亞科 (牛科の)

- 11. *Budorcas* Hodgson, 1850.....タキン属
- B. taxicolor tibetana* M.-E. ....タキン
- (西康省, 西藏)
- B. t. bedfordi* Thomas .....キヤウセイタキン
- (陝 西 省)

- 12. *Capricornis* Ogilby .....カモシカ属

- 4. *Macaca* Lacepede, 1801 .....サル属
- M. mulatta* Zimmermann .....ケツカザル
- (四川, 雲南省, 海南島, 西藏, ネパール, カシユミール, 印度)
- M. assamensis* MacClelland .....アツサムザル
- (雲南省, ビルマ, ネパール, シツキム, 印度)
- M. speciosus tibetanus* M.-E. ....チビヲザル
- (四川省, 雲南省, アツサム, 西藏)
- M. s. melli* Matschie .....ナンシチビヲザル
- (廣東省, 福建省)

(四) 擬猴亞目 (フロマザル科)

- 5. *Nycticebus* E. Geoffroy, 1812 .....フロマザル属
- N. concang cinereus* M.-E. ....フロマザル
- (雲南省, タイ, ビルマ)

奇蹄目

馬科

- 6. *Equus* L., 1758 .....ウマ属
- E. przewalskii* Poliakov .....モウコヤバ
- (北新疆省, 蒙古西北部)
- E. hemionus hemionus* Pallas .....チゲタイ
- (蒙古, 新疆)
- E. h. kiang* Moorcroft.....キヤン
- (西 藏)



P. p. przewalskii Buechner プルツワエルスキーレイヤウ  
(綏遠省, 寧夏省)

16. Gazella Lichtenstein, 1814.....ガゼラ屬

G. subgutturosa hillieriana Heude.....  
カウジャウセンレイヤウ  
(蒙古, 寧夏省, 青海省)

17. Pantholops Hodgson, 1834.....ホツソンレイヤウ屬

P. hodgsoni Abel.....ボツソンレイヤウ  
(西 藏)

(五) 鹿 科

麝 亞 科

18. Moschus L., 1758.....ジャカウジカ屬

M. moschiferus L......ジャカウジカ  
(蒙古, 河北省, 山西省, シベリア)

M. m. sifanicus Buechner.....シナジャカウジカ  
(甘肅省, 陝西省, 四川省, 湖北省, 雲南省, 廣西省)

鹿 亞 科

19. Hydropotes Swinhoe, 1870.....キバノロ屬

H. inermis Swinhoe.....キバノロ  
(江蘇省, 安徽省, 浙江省, 湖北省, 湖南省)

20. Elaphodus M.-E., 1871.....ツノキバシカ屬

E. cephalophus M.-E......ツノキバシカ  
(四川省, 雲南省)

C. sumatrensis milne-edwardsii David.....

ミルヌエドワーツカモシカ

(四川省, 甘肅省, 雲南省)

C. s. montinus Allen.....タカネカモシカ

(雲 南 省)

C. s. argyrochaetes Heude.....クロカモシカ

(浙江省, 福建省, 廣東省)

13. Nemorhaedus H. Smith.....チヤウセンカモシカ屬

N. goral caudatus M.-E......ホクシカモシカ

(河北省, 山西省, 陝西省)

N. g. arnauxianus Heude.....ナンシカモシカ

(浙江省, 福建省, 廣東省, 湖北省)

N. g. griseus M.-E......シセンカモシカ

(四川省, 雲南省)

(四) 羚羊亞科 (牛科の)

14. Prodocas Pocock, 1918.....ジエレン屬

P. gutturosa Pallas.....ジエレン

(蒙 古)

P. g. altaica Hollister.....アルタイジエレン

(アルタイ山脈)

15. Procapra Hodgson, 1846.....チベツトレイヤウ屬

P. picticaudata Hodgson.....チベツトレイヤウ

(西 藏)



- R. R. platyceros hainanus Thomas .....ヒラツノシカ  
 (海南島)
- R. Scoburgki Blyth .....シヨンプルクシカ  
 (雲南省, タイ)
25. Elaphurns M.-E., 1866.....シフザウ屬  
 E. davidianus M.-E......シフザウ  
 (野生は滅亡)
26. Cervus L., 1758 .....シカ屬  
 C. albirostris Przewalski .....クチジロシカ  
 (西藏, 甘肅省, 青海省)
- C. elaphus kansuensis Pocock .....サンセイアカシカ  
 (山西省, 陝西省, 甘肅省)
- C. e. xanthopygus M.-E. .....マンシウアカシカ  
 (北蒙, 滿洲, シベリア)
- C. macneilli Lydekker.....シロシカ  
 (西藏, 西康省)
- C. (Sika) nippon mandarinus M.-E......ネツカシカ  
 (河北省, 熱河)
- C. n. grassianus Heude .....サンセイシカ  
 (山西省)
- C. n. kopschi Swinhoe .....チウシシカ  
 (安徽, 江蘇, 浙江, 江西の諸省)
- C. alces cameloides M.-E......ダカ(オホシカ)

- E. c. ichangensis Lydekker .....ギンヤウツノキバシカ  
 (湖北省)
- E. c. michianus Swinhoe .....ナンシツノキバシカ  
 (浙江省, 江西省, 福建省, 廣東省)
21. Muntiacus Rafinesque.....キヨン屬  
 M. muntak vaginalis Boddaert .....ウンナンキヨン  
 (雲南省)
- M. m. nigripes Allen .....ハインアンキヨン  
 (海南島)
- M. m. reevesi Ogilby .....ナンシキヨン  
 (四川省, 廣西省, 湖南省, 江西省, 浙江省, 福建省,  
 廣東省, 安徽省, 湖北省)
- M. m. crinifrons Sclater.....ニンボウキヨン  
 (寧波附近)
22. Capreolus Gray, 1821 .....ノロ屬  
 C. bedfordi Thomas.....ホクシノロ  
 (河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 四川省)
- C. pygargus Pallas .....オホノロ  
 (滿洲, 北鮮, シベリア)
23. Rusa H. Smith, 1827.....スキロク屬  
 R. unicolor de cani Pousargues .....シナススキロク  
 (雲南省, 四川省, 廣西省, 廣東省, 海南島)
24. Rucervus Hodgson, 1838.....ヒラツノシカ屬



- F. (P.) pardus fontanieri M.-E. .....ホクシヘウ  
 (河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 江蘇省, 浙江省, 滿洲)
- F. (P.) p. tusca Meyer .....ナンシヘウ  
 (四川省, 雲南省, 廣東省, 福建省)
- F. uncia Schreber.....ユキヘウ  
 (西藏, ヒマラヤ, トルキスタン, シベリア, 滿洲)
- F. diardi Desmoulin.....ウンペウ  
 (海南島, 廣東省, 福建省, 臺灣, マライ)
- F. temminckii tristris M.-E. .....テミンクネコ  
 (四川省, 雲南省, 廣東省, 福建省)
- F. bengalensis Kerr.....ウンナンヤマネコ  
 (雲南省, ビルマ, マライ, 印度)
- F. b. chinensis Gray.....タイワンヤマネコ(シナヤマネコ)  
 (南支, 北支, ゴビ沙漠の縁)
- F. bieti M.-E......スナイロネコ  
 (西康省, 甘肅省)
- F. manul Pallas.....モウコヤマネコ  
 (河北省北部, ゴビ沙漠, 甘肅, スンガリア, 西藏, タヴリア)
30. Lynx Kerr, 1792 .....オホヤマネコ屬  
 L. lynx isabellina Blyth .....オホヤマネコ  
 (雲南省, 西藏, 四川省, 山西省, 河北省, 熱河, 北蒙)

(二) 靈 猫 科

31. Viverra L., 1758 .....ジャカウネコ屬

(蒙 古)

- C. a. yakutskensis Sowerby .....ホクマンダカ  
 (滿洲北西)

(六) 駱 駝 科

27. C merus L., 1758 .....ラクダ屬  
 C. bactrianus L......ニホウラクダ

(七) 野 猪 科

28. Sus L., 1758.....キノシシ屬  
 S. scrofa raddeana Afterberg .....モウコキノシシ  
 (北 蒙)
- S. s. moupinensis M.-E......ホクシキノシシ  
 (河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 四川省)
- S. s. chilodonta Heude .....ナンシキノシシ  
 (湖北省, 安徽省, 江蘇省, 以南諸省, 海南島)

食 肉 目

(一) 猫 科

29. Felis L., 1758.....ネコ屬  
 F. (Panther) tigris amurensis Dode .....マンシウトラ  
 (北蒙, 甘肅省, 山西省, 西 藏, 滿洲)
- F. (P.) t. amoyensis Hilzheimer .....ナンシトラ  
 (福建省, 浙江省, 廣東省, 廣西省, 湖北省, 湖南省,  
 安徽省, 江蘇省)



(海南島)

H. urva Hodgson .....カニクヒマングース  
(福建省, 浙江省, 江蘇省)

(三) 犬 科

36. Canis L., 1758 .....イヌ 屬  
C. lupus chanco Gray.....シナオホカミ  
(支那各省, 西藏)

37. Nyctereutes Temminck, 1838—39.....タヌキ 屬  
N. procyonoides Gray.....シナタヌキ  
(支那本部諸省)

N. p. orestes Thomas.....ウンナンタヌキ  
(雲南省のビルマ界)

38. Vulpes Oken, 1816 .....キツネ 屬  
V. vulpes tschiliensis Matschie .....キタシナキツネ  
(河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 蒙古)

V. v. karangan Erxleben .....ハイイロキツネ  
(ゴビ沙漠)

V. v. hoole Swinhoe.....ナンシキツネ  
(福建省, 廣東省, 湖南省, 四川省)

39. Cynalopex H. Smith, 1839 .....スナギツネ 屬  
C. corsac L. .....スナギツネ  
(ゴビ沙漠, キルギス草原, 西シベリア)

40. Cuon Hodgson, 1838 .....アカオホカミ 屬

V. zibetha ashtoni Swinhoe .....シナジャカウネコ  
(雲南省, 四川省, 陝西省, 湖北省, 湖南省, 江蘇省,  
浙江省, 福建省, 廣東省)

32. Viverricula Hodgson, 1838.....タイワンジャカウネコ 屬  
V. malaccensis Gmelin .....ハイナンジャカウネコ  
(海南島—マラッカ)

V. m. pallida Gray .....タイワンジャカウネコ  
(廣東省, 臺灣)

33. Paradoxurus Cuvier, 1821 .....ヤシネコ 屬  
P. hermafroditus laotum Gybenstorpe .....  
ハイナンヤシネコ  
(海南島, 佛印, タイ)

P. minor exitus Schwarz .....コヤシネコ  
(廣東省)

34. Paguma Gray, 1831.....ハクビシン 屬  
P. larvata H. Smith .....フクケンハクビシン  
(福建省, 浙江省, 廣東省, 四川省, 陝西省)

P. l. intrudens Wroughton.....ウンナンハクビシン  
(雲南省, 四川省, 佛印, ビルマ)

P. l. hainana Thom s.....ハイナンハクビシン  
(海南島)

35. Herpestes Illiger, 1811.....マングース 屬  
H. rubifrons Allen .....カホアカマングース



(雲南省, 四川省, 西康省)

(七) 鼬鼠科

46. *Meles* Brisson, 1762.....アナグマ屬  
*M. meles leptorhynchus* M.-E......シナアナグマ  
 (河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 四川省東部以南, 香港以北)
47. *Arctonyx* Cuvier, 1825 .....スナヂアナグマ屬  
*A. collaris* Cuvier.....スナヂアナグマ  
 (江南—雲南省から福建省までの)  
*A. c. leucolaemus* M.-E......クビジロアナグマ  
 (熱河, 河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 湖北省)
48. *Helictis* Gray, 1831 .....イタチアナグマ屬  
*H. moschata* Gray .....ハイナンイタチアナグマ  
 (海南島)  
*H. m. ferreogrisea* Hilzheimer.....ナンシイタチアナグマ  
 (江蘇省, 浙江省, 福建省, 江西省, 湖南省, 四川省)  
*H. taxilla sorella* Allen .....カバイロイタチアナグマ  
 (福建省)
49. *Charronia* Gray, 1865.....キエリテン屬  
*Ch. flavigula* Boddaert .....ナンシキエリテン  
 (福建省, 廣東省, 湖南省, 雲南省, 四川省, 陝西省)
50. *Martes* Pinel, 1792 .....テン屬  
*M. zibellina princeps* Birula.....クロテン  
 (蒙古北部)

- C. javanicus lepturus* Heude.....シナアカオホカミ  
 (雲南省, 四川省—江西省, 福建省)

(四) 熊科

41. *Ursus* L., 1758 .....ヒグマ屬  
*U. pruinus* Blyth .....オホツキノワグマ  
 (西藏, 甘肅省)  
*U. arctos lasiotus* Gray .....クロヒグマ  
 (北蒙, 河北省, 山西省, 陝西省, 四川省)
42. *Euarctos* Gray, 1804.....クログマ屬  
*E. thibetanus* Cuvier .....チベットクログマ  
 (西藏, 四川省, 陝西省, 山西省, 河北省)  
*E. t. melli* Matschie.....ハイナンクログマ  
 (海南島)
43. *Helarctos* Horsfield, 1825 .....マライグマ屬  
*H. malayanus wardi* Lydekker .....ワードグマ  
 (雲南省, 四川省)

(五) オホパンダ科

44. *Ailuropoda* M.-E., 1870 .....オホパンダ屬  
*A. melanoleucus* David .....オホパンダ  
 (四川省)

(六) 洗熊科

45. *Ailurus* Cuvier, 1825 .....パンダ屬  
*A. fulgens styani* Thomas.....パンダ



(北蒙以北)

M. (Putorius) eversmanni tiarata Hollister .....

ケナガイタチ

(山西省, 甘肅省, 西藏, 蒙古)

52. Vormela Blasius, 1884.....トラフイタチ屬

V. peregrina negans Miller .....

(オールドスや蒙古の沙漠の縁)

53. Lutra Bruennich, 1772.....カハラソ屬

L. lutra chinensis Gray .....

(揚子江流域, 海南島)

L. l. nair Cuvier .....

(雲南省)

L. tarayensis Hodgson.....

(雲南省)

54. Microonyx Allen, 1924.....チビツメカハラソ屬

M. cinerea Illiger .....

(海南島, 雲南省-福建省)

齧 齒 目

(一) 兎 科

55. Lepus L., 1758 .....

L. timidus altaicus Barr.-Ham. ....

(アルタイ山脈)

M. foina Erxleben .....

(天山, アルタイ山, 北蒙, 河北省?, 山西省?)

51. Mustela L., 1758.....イタチ屬

M. (Kolonocus) sibirica fontanieri M.-E. ....

(江蘇省, 河南省, 陝西省以北)

M. s. davidiana M.-E. ....

(湖北, 安徽以南, 湖南, 廣東以東)

M. s. moupinensis M.-E. ....

(四川省, 雲南省, 廣西省)

M. altaica altaica Pallas.....

(蒙古, 甘肅省, 山西省, 西藏)

M. a. kathiah Hodgson .....

(福建省, 雲南省)

M. a. raddei Ognev .....

(滿洲)

M. russeliana Thomas .....

(西康省)

M. stoliczkana .....

(ヤルカンド)

M. (Mustela) erminea mongolica Ognev.....

モウコエゾイタチ

(蒙古, アルタイ)

M. rixosa pygmaea Allen.....



(ヤルカンド地方)

L. hypsibius Blanford .....ラダツクヤマウキギ  
(ラダツク邊 15,000 呎位の高地)

56. Allolagus Ognev, 1929.....ナンシノウサギ屬

A. sinensis Gray .....ナンシノウサギ  
(江 南)

(二) 啼 兔 科

57. Ochotona Link, 1795.....ナキウサギ屬

O. (Ochotona) daurica Pallas.....モウコナキウサギ  
(ゴビ沙漠東端—新疆省東端)

O. d. altaina Thomas .....アルタイナキウサギ  
(アルタイ山)

O. d. bedfordi Thomas.....ベツドフオードナキウサギ  
(山 西 省)

O. d. annectens Miller.....セイカイナキウサギ  
(青海省, 甘肅省)

O. d. melanostoma Buechner .....ハナグロナキウサギ  
(甘肅省西端—西藏東部)

O. thibetana M.-E. .....チベツトナキウサギ  
(四川省, 湖北省西部, 西藏, 雲南省)

O. th. cansus Lyon .....カンシユクナキウサギ  
(甘肅省南部)

O. th. huangensis Matschie .....キヤウセイナキウサギ

L. europaeus tolai Pallas .....モウコノウサギ  
(蒙古, オルドス荒原, 吉林以西の滿洲)

L. e. swinhoei Thomas .....スキンホーノウサギ  
(湖北省, 山東省)

L. e. filschneri Matschie .....ホクレイノウサギ  
(山西省, 陝西省)

L. e. aurigineus Hollister .....ホリスターノウサギ  
(河北省, 江蘇省, 四川省東部)

L. hainanus Swinhoe .....ハイナンノウサギ  
(海 南 島)

L. tibethanus Waterhouse .....チベツトノウサギ  
(西藏西北部)

L. oiostolus Blanford .....ラツサノウサギ  
(四川省, 西康省, 甘肅省, 西藏)

L. o. grahami Howell.....グラハムノウサギ  
(西康省打箭爐邊の 15,000 尺邊)

L. o. comus Allen.....ウンナンノウサギ  
(雲 南 省)

L. o. przewalskii Satunin .....プルツエワルスキーノウサギ  
(青 海 省)

L. o. kaschgaricus Safunin.....カシユガルノウサギ  
(カシユガル地方)

L. yarcandensis Guenther .....ヤルカンドノウサギ



O. a. argentata Howell .....ギンイロナキウサギ  
(北支のニンシヤ)

O. hyrerborea mantchurica Thomas .....  
マンシウナキウサギ  
(外蒙の庫倫の北, 滿洲の大興安嶺)

(三) 栗鼠上科

(イ) タラバガン科

58. Marmota Frisch, 1775 .....タラバガン屬

M. bobak sibirica Radde .....タラバガン  
(蒙古の庫倫の周圍, 滿洲の三河地方, マンチュリー邊)

M. himalayana robusta M.-E. .....シセントラバガン  
(四川省, 雲南省)

M. caudata Jaeqnemont .....ドラン  
(西藏のラダツク高地)

M. aurea Blanford .....コドラン  
(西藏のカシユミール境)

(ロ) 栗鼠科

59. Citellus Oken, 1816 .....ハタリス屬

C. eversmanni jacutensis Brandt .....オホハタリス  
(北蒙, 東部シベリア)

C. dauricus Brandt .....ドーリアハタリス  
(ゴビ沙漠, 滿洲三河地方)

C. d. mongolicus M.-E. .....ナンモウハタリス

(陝西省)

O. th. sorella Thomas .....サンセイナキウサギ  
(山西省の五臺山)

O. th. forresti Thomas .....フオレストナキウサギ  
(雲南省西境)

O. roylei chinensis Thomas .....ダセンロナキウサギ  
(西康省の打箭爐)

O. a r' tus Blanford .....フトミミナキウサギ  
(西藏)

O. griseus Blanford .....ハイイロナキウサギ  
(崑崙山)

O. (Ogo'oma) pallasi Gray .....パラスナキウサギ  
(ゴビ沙漠)

O. pallasi pricei Thomas .....コプトナキウサギ  
(外蒙西部コプト)

O. ladacensis Guenther .....ラダツクナキウサギ  
(西藏のラダツタ北方)

O. (Pka) erythrotis Buechner .....ミミアカナキウサギ  
(西藏東部, 甘肅省)

O. gloveri Thomas .....グロバーナキウサギ  
(四川省西部)

O. alpina Pallas .....アルタイナキウサギ  
(アルタイ山を中心として)



(雲南省西北部)

61. *Ratufa Gray*, 1867 .....オホリス屬

*R. gigantea Macclelland* .....オホリス

(雲南省西南部, ビルマ)

*R. g. hainana Allen*.....ハイナンオホリス

(海南島)

62. *Tamiops Allen*, 1906 .....タイワンシマリス屬

*T. macclelandi inc nstans Thomas* .....

マツクレランドシマリス

(雲南省, 佛印の東京)

*T. m. barbei Blyth* .....バーベシマリス

(雲南省のビルマ境)

*T. swinhoei M.-E.*.....スキンホーシマリス

(四川省, 雲南省)

*T. s. vestus Miller* .....ネツカシマリス

(河北省, 熱河)

*T. s. clarkei Thomas* .....クラークシマリス

(四川省, 雲南省)

*T. s. hainanus Allen* .....ハイナンシマリス

(海南島)

63. *Dremomys Heude*, 1898 .....ハナナガリス屬(キバラリス屬)

*D. pernyi M.-E.*.....パーニーハナナガリス

(四川省, 雲南省北部)

(ゴビ南縁, 河北省, 山西省, 山東省, 熱河)

*C. d. alashanicus Buechner* .....アラシヤンハタリス

(寧夏省東部—山西省西部)

*C. pallidicauda Satunin* .....ヲジロハタリス

(ゴビ沙漠北半)

58. *Euta nias Trouessart*, 1880.....シマリス屬

*E. sibiricus asiaticus Gmelin* .....シベリアシマリス

(ゴビより北東, シベリア)

*E. s. senescens Miller*.....コシアカシマリス

(河北省, 山西省, 陝西省, 熱河, 南蒙)

*E. s. ordinalis Thomas* .....オールドスシマリス

(オールドス沙漠の縁邊)

*E. s. albogularis Allen* .....カンシクシマリス

(甘肅省)

59. *Sciurotamias Miller*, 1901 .....イワヤマリス屬

*S. davidianus M.-E.*.....ダビツドイワヤマリス

(河北省, 山東省, 山西省, 甘肅省, 熱河, 滿洲)

*S. d. consobrinus M.-E.* .....アシグロイワヤマリス

(四川省)

*S. d. saltitan Heude* .....コホクイワヤマリス

(湖北省, 河南省, 陝西省)

60. *Rupestes Thomas*, 1922 .....イワリス屬

*R. forresti Thomas* .....フオレストイワリス



- C. e. ningpoensis Bonhote.....ニンポークリハラリス  
(福建省, 浙江省)
- C. e. styani Thomas .....ステイアングリハラリス  
(浙江省, 江蘇省, 江西省, 安徽省)
- C. e. bonhotei.....ボンホートクリハラリス  
(四川省)
- C. e. gordonii Anderson .....ゴルドンクリハラリス  
(雲南省西南陽)
- C. e. michianus Robnison et Wrouyhton .....  
タカネクリハラリス  
(雲南省北西ビルマ境)
- C. e. gloveri Thomas.....グロバークリハラリス
- C. quinquistriatus Anderson.....ビルマスヂハラリス  
(雲南省西北隅, ビルマ)
- C. q. sylvester Thomas .....ウススヂハラリス  
(雲南省西部)
- 65. Sciurus L., 1758.....リス属
- S. vulgaris chilensis Sowerby .....キタシナリス  
(河北省)
- S. v. fusconigrans Dwigubski .....モウゴリス  
(蒙古北部, バイカル地方)

(ハ) 鼯鼠科

- 66. Pteromys Cuvier, 1800 .....モモンガ属

- D. .. flavior Allen .....ウンナンハナナガリス  
(雲南省中部)
- D. p. howelli Thomas.....ハウエルハナナガリス  
(雲南省南部)
- D. p. modestus Thomas.....シセンハナナガリス  
(四川省東部)
- D. p. senex Allen .....コホクハナナガリス  
(湖北省, 湖南省北部)
- D. p. calidior Thomas .....フクケンハナナガリス  
(福建省, 浙江省, 安徽省)
- D. rufigenis pyrrhom<sup>e</sup>rus Thomas.....  
モ、アカハナナガリス  
(湖北省の宜昌邊)
- D. r. riudonensis Allen .....ハイナンハナナガリス  
(海南島)
- D. r. melli Matschie.....カントンハナナガリス  
(廣東省)
- D. r. ornatus Thomas.....シロハラハナナガリス  
(雲南省南陽)
- 64. Callosciurus Gray, 1867.....クリハラリス属
- C. erythraeus castaneoventris Gray .....  
ハイナングリハラリス  
(海南島)



(海南島)

*P. punctatus marica* Thomas .....シロマダラムササビ

(雲南省)

*P. xanthotis* M.-E. .....ミミアカムササビ

(四川省, 雲南省, 甘肅省)

*P. clarkei* Thomas .....クラークムササビ

(雲南省西部, 四川省)

*P. sulcatus* Howell .....ネツカムササビ

(河北省, 熱河)

69. *Aeretes* Allen, 1938 .....ハネグロムササビ屬

*A. melanopterus* M.-E. .....ハネグロムササビ

(河北省)

70. *Trogopterus* Heude, 1898 .....アカアシムササビ屬

*Tr. xanthipes* M.-E. .....アカアシムササビ

(河北省)

*Tr. x. mordax* Thomas .....コホクアカアシムササビ

(湖北省, 四川省)

*Tr. x. edithae* Thomas .....ウンナンアカアシムササビ

(雲南省)

(四) 海狸上科

71. *Castor* L., 1758 .....カイリ屬

*C. fiber birulai* Serebrennikov .....コブトカイリ

(北蒙西端コブト)

*Pt. volans buechneri* Satunin .....ビユツヒナーモモンガ

(山西省, 甘肅省)

*Pt. alboniger orinus* Allen .....シロクロモモンガ

(雲南省西部—ネパール)

*Pt. electilis* Allen .....ハイナンモモンガ

(海南島)

67. *Belomys* Thomas, 1908 .....ケアシモモンガ屬

*B. pearsonii* Gray .....ペーアソンケアシモモンガ

(雲南省西南部, 佛印の東京, ネパール)

68. *Petaurista* Link, 1795 .....ムササビ屬

*P. petaurista rufipes* Allen .....アカムササビ

(福建省, 廣東省)

*P. p. rubicundus* Howell .....シセンアカムササビ

(四川省南部)

*P. alborufus* M.-E. .....シロアカムササビ

(四川省)

*P. a. ochraspis* Thomas .....ウンナンシロアカムササビ

(雲南省西部)

*P. a. castaneus* Thomas .....コホクシロアカムササビ

(湖北省)

*P. yunnanensis* Anderson .....ウンナンムササビ

(雲南省西部)

*P. hainanus* Allen .....ハイナンムササビ



(寧夏省アラシヤン, 内蒙)

77. *Cardiocranius Satunin*, 1902..... コミミトビネズミ屬

*C. paradoxus Satunin* ..... コミミトビネズミ

(甘肅省北西, 中央ゴビ)

78. *Dipus Zimmermann*, 1780 ..... カンガルーネズミ屬

*D. sagitta sowerbyi Thomas* .....

ソワービーカンガルーネズミ

(陝西省, 蒙古, 熱河)

(六) 鼠 上 科

(イ) 鼯 尾 鼠 科

79. *Typhlomys M.-E.*, 1877 ..... チョビネズミ屬

*T. cinereus M.-E.* ..... チョビネズミ

(福建省高地)

(ロ) 猪 鼠 科

80. *Myospalax Laxmann*, 1769 ..... モグラネズミ屬

*M. myospalax psilurus M.-E.* ..... キタシナモグラネズミ

(河北省, 山東省, 熱河承德)

*M. armandii M.-E.* ..... アルマンドモグラネズミ

(山西省北部)

*M. komurai Mori* ..... トウモウモグラネズミ

(東蒙, 熱河北部, 南滿)

*M. fontanierii M.-E.* ..... モウコモグラネズミ

(山西省, 綏遠省, 河北省西部)

(五) 跳 鼠 上 科

( ) 尾 長 鼠 科

72. *Sicista Gray*, 1827..... フナガネズミ屬

*S. concolor Buechner* ..... マンシウフナガネズミ

(甘肅省, 四川省, 東滿)

73. *Zapus Coues*, 1875 .....

*Z. setchuanus Pousargues* ..... スヂハラフナガネズミ

(西康省高地)

*Z. s. vicinus Thomas* ..... シロハラフナガネズミ

(甘肅省高地)

(ロ) 跳 鼠 科

74. *Allactaga Cuvier*, 1836 ..... トビネズミ屬

*A. sibirica Forster* ..... シベリアトビネズミ

(東北蒙, 熱河, バクカル地方)

*A. s. annulata M.-E.* ..... ゴビトビネズミ

(ゴビ沙漠)

*A. bullata Allen* ..... カハリトビネズミ

(ゴビ沙漠)

75. *Allactagulus Nehring*, 1897 ..... コアシトビネズミ屬

*A. pumilio potanini Vinogradov* ..... コアシトビネズミ

(綏遠省オルドス沙漠)

76. *Euchoreutes Sclater*, 1890 ..... オホミミトビネズミ屬

*E. naso alashanicus Howell* ..... オホミミトビネズミ



(1) 畑鼠亞科

82. *Microtus* Schrank, 1798 .....ハタネズミ屬
- M. mongolicus* Radde.....モウコハタネズミ  
(蒙古北部, 大興安嶺, チハル, シベリア)
- M. poljakowi* Kastchenko .....ポルヤコフハタネズミ  
(蒙古の庫倫の西南方)
- M. limnophilus* Buechner .....ザイダムハタネズミ  
(青海省ザイダム, ゴビ鹽性荒野)
- M. ratticeps flaviventris* Satunin...カンシユクハタネズミ  
(甘肅省, 陝西省西部)
- M. obscurus* Eversmann .....シロアシハタネズミ  
(内蒙, 滿洲西部)
- M. fortis* Buechner .....キヤウセイヨシネズミ  
(陝西省)
- M. f. calamorum* Thomas.....ナンキンヨシネズミ  
(南京附近)
- M. clarkei* Hinton.....クラークハタネズミ  
(雲南省)
- M. millicens* Thomas .....ハイイロハタネズミ  
(四川省西北高地)
- M. agrestis mongol* Thomas.....カゲハタネズミ  
(蒙古西部, バイカル地方)
- M. (Stenocranius) gregalis raddei* Poliakov.....

- M. f. casus* Lyon .....カンシユクモグラネズミ  
(陝西省, 甘肅省)
- M. f. baileyi* Thomas .....ベイレイモグラネズミ  
(西康省)
- M. rothschildi* Thomas .....ロスチャイルドモグラネズミ  
(陝西省, 甘肅省東部, 湖北省西部)
- M. smithii* Thomas .....スミスモグラネズミ  
(甘肅省)

(ハ) 竹鼠科

81. *Rhizomys* Gray, 1831.....タケネズミ屬
- Rh. sinensis* Gray.....タケネズミ  
(廣東省)
- Rh. s. davidi* Thomas .....ダビッドタケネズミ  
(福建省西北部)
- Rh. s. vestus* M.-E. ....キタタケネズミ  
(四川省, 甘肅省東部, 陝西省南部)
- Rh. s. wardi* Thomas .....ワードタケネズミ  
(雲南省西北部)
- Rh. pruinosis senex* Thomas .....ウスグロタケネズミ  
(雲南省西南部)
- Rh. p. latouchei* Thomas .....スワトウタケネズミ  
(廣東省南部)

(ニ) 鼠科



(青海省)

84. *Ellobius Fischer*, 1814.....モグラハタネズミ屬

*E. talpinus larvatus Allen*.....モグラハタネズミ

(外蒙西部高地)

*E. t. orientalis Allen* .....サハルモグラハタネズミ

(東 蒙)

85. *Proedromys Thomas*, 1911 .....ベツドフオードハタネズミ屬

*Pr. bedfordi Thomas* .....ベツドフオードハタネズミ

86. *Myopus Miller*, 1910 .....モウコタビネズミ屬

*M. schisticolor saianicus Hinton*.....モウコタビネズミ

(外蒙庫倫の北方)

87. *Clethrionomys Tilesius*, 1850 .....ヤチネズミ屬

*C. rufocanus Sundevall* .....チシマヤチネズミ

(外蒙庫倫より北, シベリア, 千島)

*C. r. shanseius Thomas*.....サンセイヤチネズミ

(山西省)

*C. rutilus russatus Radde*.....オビヤチネズミ

(北蒙, シベリア南部)

88. *Eothenomys Miller*, 1896 .....ピロウドネズミ屬

*E. melanogaster M.-E.*.....ピロウドネズミ

(四川省の中, 西部高地)

*E. m. columnus Thomas*.....ナンシピロウドネズミ

(福建省西北部, 浙江省)

ホソハタネズミ

(北蒙—ゴビ—張家口)

*M. (S.) tianshaninus angustus Thomas* .....

テンザンハタネズミ

(西はアルタイ, 東は張家口北)

*M. (Neodon) forresti Hinton* .....フオレストハタネズミ

(雲南省北部高地)

*M. (N.) irene Thomas* .....ダセンロハタネズミ

(西康省, 雲南省北部)

*M. (N.) i. oniscus Thomas* .....カンシユクハタネズミ

(甘 肅 省)

*M. (Phaiomys) mandarinus M.-E.* .....

マンダリンハタネズミ

(山西省, 内蒙, 陝西省)

*M. (Ph.) m. faceus Allen*.....コミミハタネズミ

(河北省, 熱河)

*M. (Ph.) m. johannes Thomas* .....ヨハネスハタネズミ

(山西省北西部)

*M. (Ph.) brandtii Radde* .....スナイロハタネズミ

(東 蒙)

83. *Lagurus Gloger*, 1841.....ウサギヲハタネズミ屬

(チビヲハタネズミ屬)

*L. przewalskii Buechner* .....プルツエワルスキーハタネズミ



(甘肅省, 四川省, 湖北省)

E. (C.) e. alcinous Thomas .....

クロカゲヒメビロウドネズミ

(四川省)

E. (C.) inez Thomas .....サンセイビロウドネズミ

(山西省, 陝西省)

E. (C.) i. nux Thomas .....キヨウセイビロウドネズミ

(陝西省南部)

89. Alticola Blanford, 1884 .....イワヤマネズミ屬

A. macrotis Radde .....イワヤマネズミ

(北 蒙)

A. m. semicanus Allen .....ゴビイワヤマネズミ

(ゴビ沙漠の西北半)

A. nanschanicus Satun n .....ナンザンイワヤマネズミ

(甘肅省北部)

A. stoliczkanus Blanford ...ストリツカンイワヤマネズミ

(崑崙山, ラダツク)

A. lama Bar.-Ham. .....ラマイワヤマネズミ

(西藏西部, カシュミールの高地)

(2) 沙鼠亞科

90. Meriones Illiger, 1811 .....スナネズミ屬

M. unguiculatus M.-E. .....スナネズミ

(山西省北部, 内蒙)

E. miletus Thomas .....ウンナンビロウドネズミ

(雲南省西北高地, 四川省南部)

E. m. aurora Allen .....ギシヨウビロウドネズミ

(湖北省宜昌附近)

E. eleusis Thomas .....コビロウドネズミ

(雲南省北部)

E. olitor Thomas .....クロミミビロウドネズミ

(雲南省北部)

E. proditor Hinton .....タカネビロウドネズミ

(雲南省南部高地)

E. chinensis Thomas .....シナビロウドネズミ

(四川省中部高地)

E. ch. torquinius Thomas .....ダセンロビロウドネズミ

(西 康 省)

E. ch. wardi Thomas .....ワードビロウドネズミ

(雲南省西北境)

E. custos Thomas .....チビアシビロウドネズミ

(雲 南 省)

E. c. rubellus Allen .....クリハラビロウドネズミ

(雲南省西境)

E. c. hintoni Osgood .....ヒントンビロウドネズミ

(西 康 省)

E. (Caryomys) eva Thomas .....ヒメビロウドネズミ



- C. l. nigrescens Allen ..... ヲナガクロキヌゲネズミ  
 (河北省, 熱河)
- C. evermanni curtatus Allen ..... ブタヲキヌゲネズミ  
 (内 蒙)
- C. triton De Winton et Styan ..... オホキヌゲネズミ  
 (河北省, 山東省, 山西省南部)
- C. t. fuscipes Allen ..... アレノキヌゲネズミ  
 (河北省北部, 熱河)
- C. t. collinus Allen ..... キヨウセイオホキヌゲネズミ  
 (陝西省西南部)
- C. t. incanus Thomas ..... オルドスオホキヌゲネズミ  
 (綏遠省オルドス沙漠の縁邊)
94. Cricetiscus Thomas, 1917 ..... ケアシキヌゲネズミ屬  
 C. campbelli Thomas ..... ケアシキヌゲネズミ  
 (内蒙高臺の東端, ホロンバイル)
95. Phodopus Miller, 1910 ..... ヒメケアシキヌゲネズミ屬  
 Ph. bedfordiae Thomas ..... ヒメケアシキヌゲネズミ  
 (陝西省, 綏遠省, ゴビアルタイの東端まで)
- Rh. roborovskii Satuin .....  
 ロボロフスキーヒメキヌゲネズミ  
 (甘肅省の南山)
96. Cansumys Allen, 1928 ..... カンシユクキヌゲネズミ屬  
 C. canus Allen ..... カンシユクキヌゲネズミ

- M. meridianus psammophilus M.-E. ... ホクシスナネズミ  
 (内蒙一體, 外蒙)
- M. tamaricinus satschouensis Satunin .....  
 カンシユクスナネズミ  
 (甘肅省西部)
91. Rhombomys Wagner, 1841 ..... オホスナネズミ屬  
 Rh. opinum nigrescens Satunin ..... オホスナネズミ  
 (寧夏省のアラシャン, ゴビ沙漠)
92. Brachiones Thomas, 1925 ..... コミミスナネズミ屬  
 Br. przewa'skii callichrous Heptner ... コミミスナネズミ  
 (ゴビ沙漠西南部)
- (3) 絹毛鼠亞科
93. Cricetulus M.-E., 1867 ..... セスデキヌゲネズミ屬  
 C. griseus M.-E. = C. barabensis griseus M.-E. .....  
 ナンマンセスデキヌゲネズミ  
 (河北省の北京附近, 熱河, 南滿)
- C. b. obscurus M.-E. ..... セスデキヌゲネズミ  
 (山西省北部, ゴビ沙漠, 熱河北部, ホロンバイル)
- C. migratorius griseiventris Satunin .....  
 ハイバラキヌゲネズミ  
 (ゴビ, アルタイ)
- C. longicaudatus M.-E. ..... ヲナガキヌゲネズミ  
 (山西省, 蒙古)



99. *Leggada* Gray, 1837.....モリネズミ屬  
*L. cooki* Ryley .....クツクモリネズミ  
 (雲南省, ビルマのシャン地區)  
*L. cooki meator* Allen.....タカネモリネズミ  
 (雲南省西部高地)
100. *Mus* L., 1758 .....ハツカネズミ屬  
*M. bactrianus gansuensis* Satunin .....  
 カンシユクハツカネズミ  
 (甘肅省, 陝西省北部, 山東省, 蒙古)  
*M. b. manchu* Thomas .....マンシウハツカネズミ  
 (河北省, 滿洲)  
*M. b. tantillus* Allen .....シセンハツカネズミ  
 (四川省を中心として, 湖北省, 甘肅省, 陝西省にはみ出す)  
*M. b. kakhyensis* Anderson .....カケイハツカネズミ  
 (雲南省, 海南島, 福建省)
101. *Rattus* Fischer .....ドブネズミ屬  
*R. norvegicus socer* Miller .....シナドブネズミ  
 (甘肅省, 陝西省, 山西省, 河北省, 四川省, 雲南省, 福建省)  
*R. rattus* L.....クマネズミ  
*R. r. alexandrinus* Geoffroy.....エジプトネズミ  
*R. r. hainanicus* Allen.....ハイナンイヘネズミ  
 (海南島)  
*R. r. sladeni* Anderson .....スラーデンイヘネズミ

(甘肅省の南部)

(4) 鼠 亞 科

97. *Apodemus* Kaup, 1829 .....アカネズミ屬  
*A. sylvaticus orestes* Thomas.....ミミグロアカネズミ  
 (四川省, 雲南省)  
*A. s. draco* Bar.-Ham .....フクケンアカネズミ  
 (福建省)  
*A. peninsulae* Thomas .....ハントウアカネズミ  
 (河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 四川省, 雲南省, 朝鮮)  
*A. latronum* Thomas .....オホミミアカネズミ  
 (四川省, 雲南省)  
*A. agrarius* Pallas .....セスデアカネズミ  
 (*A. a. mantchuricus* Thomas ...マンシウセスデネズミ)  
 (河北省東邊, 滿洲, 朝鮮)  
 (*A. a. pallidior* Thomas .....サントウセスデネズミ)  
 (河北省, 山東省, 山西省, 陝西省, 甘肅省, 四川省)  
 (*A. a. ningpoensis* Swinhoe.....ニンポセグロネズミ)  
 (湖南省, 浙江省, 福建省, 湖北省)  
 (*A. a. chevrieri* M.-E. ....タカネアカネズミ)  
 (四川省を中心とせる湖北省, 雲南省, 甘肅省高地)
98. *Micromys* Dehne, 1841 .....カヤネズミ屬  
*M. minutus pygmaeus* M.-E.....シナカヤネズミ  
 (陝西省, 四川省, 湖北省, 湖南省, 福建省)



- R. f. huan Bonhote .....フツケンアラゲネズミ  
(福建省)
- R. andersoni Thomas .....アンダーソンネズミ  
(四川省)
- R. eha ninus Thomas .....ススハラネズミ  
(雲南省西北部)
- R. edwardsi Thomas .....エドワーズネズミ  
(福建省)
- R. e. gigas Satunin .....シセンエドワーズネズミ  
(四川省, ビルマ)
- R. bowerdsii Anderson .....ボワーズネズミ  
(雲南省西部高地)
- R. b. Latouchei Thomas .....フツケンボワーズネズミ  
(福建省)
- 102. Bandicota Gray, 187 .....オニネズミ屬  
B. nemorivaga Hodgson .....オニネズミ  
(雲南省西南部以西, 臺灣)
- 103. Vandeleuria Gray, 1842 .....コキノボリネズミ屬  
V. oleracea Bennett .....クリイロコキノボリネズミ  
(雲南省のビルマ境)
- V. dumeticola Hodgson .....ヲナガコキノボリネズミ  
(雲南省西南部)
- 104. Chiropodomys Peters, 1868 .....フサヲキノボリネズミ屬

- (雲南省のビルマ境)
- R. flavipectus M.-E. .....キバラネズミ  
(江蘇省, 福建省, 四川省, ビルマ, 印度)
- R. f. yunnanensis Anderson .....ウンナンキバラネズミ  
(雲南省西南部)
- R. nitidus Hodgson .....ハイバラネズミ  
(四川省, 雲南省, 湖南省, 海南島)
- R. n. humiliatus M.-E. .....ヤワゲネズミ  
(北京附近)
- R. n. insolatus Howell .....キョウセイハイバラネズミ  
(陝西省北部高地)
- R. losea exiguus Howell .....フツケンコキバラネズミ  
(福建省, 海南島)
- R. l. celsus Allen .....ウンナンコキバラネズミ  
(雲南省北部高地)
- R. confucianus M.-E. .....コウシネズミ  
(四川省, 雲南省, 湖南省, 浙江省, 福建省)
- R. c. socer Thomas .....ウスイロコウシネズミ  
(山東省, 河北省, 山西省, 陝西省, 甘肅省)
- R. c. lotipes Allen .....ハイナンコウシネズミ  
(海南島)
- R. fulvescens Gray .....アラゲネズミ  
(雲南省のビルマ境)



(雲南省西部)

T. b. yunalis Thomas.....カバイロトガリリス

(雲南省東南部の蒙自附近)

T. b. matesta Allen.....ハイナントガリリス

(二) 無盲腸亞目

(イ) 獺科

109. Hylmys Muller, 1839.....キノウハリネズミ屬

H. suillus: peguensis Blyth.....キノウハリネズミ

(雲南省のビルマ境, ビルマ, マライ半島, スマトラ, ジャワ)

110. Neotetracus Trouessart, 1909...ヲナガキノウハリネズミ屬

N. sinensis Trouessart.....ヲナガキノウハリネズミ

(西康省, 雲南省)

111. Erinaceus L., 1758.....ハリネズミ屬

E. europaeus dealbatus Swinhoe.....ホクシハリネズミ

(河北省, 山東省, 江蘇省, 湖北省, 陝西省, 滿洲西部)

E. e. miodon Thomas.....ユリンハリネズミ

(陝西省榆林府邊)

112. Hemiechinus Fitzinger, 1866.....オホミミハリネズミ屬

H. dauricus Sundevall.....ダウリアオホミミハリネズミ

(東蒙古の察哈爾, 滿洲のホロンバイル)

H. d. alaschanicus Satunin...アラシヤオホミミハリネズミ

(寧夏省アラシヤン地方)

(ロ) 鼯鼠科

Ch. gliroides Blyth.....フサヲキノボリネズミ

(廣西省, 佛印の東京)

105. Hapalomys Blyth, 1859.....キノボリネズミ屬

H. delacouri marmosa Allen.....キノボリネズミ

(七) 豪猪上科—豪猪科

106. Atherura Cuvier, 1829.....フサヲヤマアラシ屬

A. macrourus stevensi Thomas.....

ステブンスフサヲヤマアラシ

(四川省)

A. m. hainanus Allen.....ハイナンフサヲヤマアラシ

(海南島)

107. Hystrix L., 1758.....ヤマアラシ屬

H. subcristata Swinhoe.....シナヤマアラシ

(南支一體, 北は湖北省, 陝西省南部まで)

H. s. papae Allen.....ハイナンヤマアラシ

(海南島)

H. yunnanensis Anderson.....ウナンヤマアラシ

(雲南省のビルマ境近邊)

食虫目

(一) 有盲腸亞目—樹仙科

108. Tupaia Raffles, 1821.....トガリリス屬

T. belangeri chinensis Anderson.....トガリリス



- Rh. andersoni* Thomas ..... アンダーソンヒメモグラ  
(四川省南部)
- Rh. a. nivatus* Allen ..... セツザンヒメモグラ  
(雲南省西北部の雪山)
- Rh. a. atronatus* Allen ..... ウンナンヒメモグラ  
(雲南省西南部高地)
120. *Nasillus* Thomas, 1911 ..... ホソヒメモグラ屬  
*N. gracilis* Thomas ..... ホソヒメモグラ  
(四川省東南部)
- N. investigator* Thomas ..... ウンナンホソヒメモグラ  
(雲南省西北隅)
121. *Scaptonyx* M.-E., 1868—74 ..... シナヒミズ屬  
*S. fuscaudatus* M.-E. .... ヲナガシナヒミズ  
(青海省)
- S. f. affinis* Thomas ..... ウンナンシナヒミズ  
(雲南省西北の阿墩附近)
- (ハ) 尖鼠科  
(1) 尖鼠亞科
122. *Sorex* L., 1758 ..... トガリネズミ屬  
*S. araneus borealis* Kaschenko ... キタオホトガリネズミ  
(蒙古北部, シベリア)
- S. sinalis* Thomas ..... カンシユクオホトガリネズミ  
(甘肅省東南部, 陝西省西南部)

113. *Talpa* L. 1758 ..... ヨウロツパモグラ屬  
*T. longirostris* M.-E. .... ハナナガモグラ  
(四川省)
114. *Mogera* Pomel, 1848 ..... モグラ屬  
*M. latouchei* Thomas ..... フクケンモグラ  
(福建省)
- M. hainana* Thomas ..... ハイナンモグラ  
(海南島)
115. *Parascaptor* Gill, 1875 ..... ウンナンモグラ屬  
*P. leucurus* Blyth ..... ウンナンモグラ  
(雲南省西境, ビルマのシヤン地區, アッサム)
116. *Scaptochirus* M.-E., 1867 ..... ジャカウモグラ屬  
*S. moschata* M.-E. .... ジャカウモグラ  
(河北省, 山東省, 滿洲)
- S. m. gillieri* Thomas ..... サンセイジャカウモグラ  
(山西省)
117. *Scapanulus* Thomas, 1912 ..... オーエンモグラ屬  
*S. oweni* Thomas ..... オーエンモグラ  
(陝西省南部, 甘肅省南部)
118. *Uropsilus* M.-E., 1871 ..... ヒメモグラ屬  
*U. soricoides* M.-E. .... ヒメモグラ  
(四川省の馬邊山)
119. *Rhynchonax* Thomas, 1912 ..... アンダーソンヒメモグラ屬



- Ch. hypsibia De Winton et Styan ……ヤマトガリネズミ  
 (四川省西北, 陝西省南部, 雲南省)
- Ch. h. lamula Thomas ……カンシユクヤマトガリネズミ  
 (甘肅省南部)
- Ch. h. larvarum Thomas ……ピロードトガリネズミ  
 (熱河と河北省との境邊)
- Ch. parva Allen ……コヤマトガリネズミ  
 (雲南省西北隅)
- Ch. salenskii Kastchenko ……  
 サレンスキーヤマトガリネズミ  
 (四川省北部)
- Ch. smithi Thomas ……スミスヤマトガリネズミ  
 (西康省打箭爐高地)
- Ch. s. parca Allen ……ウンナンヤマトガリネズミ  
 (雲南省西境高地)
125. Blarinella Thomas, 1911 ……フトリトガリネズミ屬  
 B. quadratica M.-E. ……フトリトガリネズミ  
 (四川省中部, 東部)
- B. q. griselda Thomas ……カンシユクフトリトガリネズミ  
 (甘肅省)
- B. q. wardi Thomas ……ワードフトリトガリネズミ  
 (2) 鼯鼠亞科
126. Suncus Hempeich et Ehrenberg, 1832 ……ジャカウネズミ屬

- S. excelsus Allen ……ウンナンオホトガリネズミ  
 (雲南省西部)
- S. buxtoni Allen ……バクストントガリネズミ  
 (蒙古北部, シベリア)
- S. b. cansulus Thomas ……カンシユクトガリネズミ  
 (甘肅省)
- S. minutus thibetanus Kastchenko ……  
 チベットトガリネズミ  
 (西康省)
- S. cylindrica M.-E. ……セスデトガリネズミ  
 (陝西省西南部, 四川省西部, 西康省, 雲南省西北部)
- S. c. wardi Thomas ……ワードセスデトガリネズミ  
 (甘肅省南部)
- S. c. gomphus Allen ……ウンナンセスデトガリネズミ  
 (雲南省西部高地)
123. Soriculus Blyth, 1854 ……ケムリトガリネズミ屬  
 S. macrurus Blanford ……ヲナガケムリトガリネズミ  
 (雲南省西部高地, 印度のダージリン)
- S. caudatus sacratus Thomas ……シナケムリトガリネズミ  
 (四川省西部)
- S. c. umbrinus Allen ……ヲグロケムリトガリネズミ  
 (雲南省西南部高地)
124. Chodsigoa Kastchenko, 1905 ……アリスントガリネズミ屬



(四川省, 陝西省南部, 雲南省西半)

129. *Chimarrogale Anderson*, 1877 .....カハネズミ屬

*Ch. himalayaica Gray* .....ヒマラヤカハネズミ

(雲南省西北部高地, トンキン, シツキム, カシユミール)

*Ch. h. leander Thomas* .....フツケンカハネズミ

(福建省, 浙江省)

*Ch. styani De Winton et Styan* ...ステイアンカハネズミ

(西康省北東部, ビルマ北部高地)

130. *Nectogale M.-E.* .....ミツカキカハネズミ屬

*N. elegans M.-E.* .....ミツカキカハネズミ

(西康省北東のヤンリウパ, 四川省の馬邊山, 陝西省の西安)

### 翼手目

#### (一) 大蝙蝠科

131. *Cynopterus Cuvier*, 1825 .....イヌオホカウモリ屬

*C. sphinx Vahl* .....イヌオホカウモリ

(海南島)

*C. brachyotis angulatus Miller* .....

カントンイヌオホカウモリ

(廣東省, ビルマ, タイ, マライ半島, アツサム)

132. *Rousettus Gray*, 1821 .....レシユナウルトオホカウモリ屬

*Rousettus leschenaulti Desmarest* .....

レシユナウルトオホカウモリ

*S. murinus L.* .....ジヤカウネズミ

(海南島, 廣東省, 福建省)

127. *Crocidura Wagler*, 1832 .....チネズミ屬

*C. attenuata M.-E.* .....シナチネズミ

(湖北省, 四川省以南各省の低地)

*C. dracula Thomas* .....ラジロチネズミ

(雲南省)

*C. d. grisescens Howell* .....フツケンラジロチネズミ

(福建省西北部)

*C. ilensis Miller* .....ヒメチネズミ

(新疆省草原)

*C. i. lar Allen* .....ゴビヒメチネズミ

(ゴビ沙漠)

*C. i. shantungensis Miller* .....サントウヒメチネズミ

(山東省)

*C. l. phaeopus Allen* .....シセンヒメチネズミ

(四川省, 陝西省南部, 湖北省西部)

*C. vorax Allen* .....ウスイロチネズミ

(雲南省北部)

*C. rapax Allen* .....ミナミウンナンチネズミ

(雲南省南部高地)

<sup>1</sup>28. *Anourosorex M.-E.*, 1870 .....ウロコアシチネズミ屬

*A. squamipes M.-E.* .....ウロコアシチネズミ



C. inflata Miller .....ヲナシカグラカウモリ  
(福建省の延平)

C. sinicus Allen.....シナヲナシカグラカウモリ  
(四川省)

(ハ) 菊頭蝙蝠科

137. Rhinolophus Lacepede, 1799 .....キクガシラカウモリ屬

Rh. rouxi sinicus Anderson .....  
シナアカキクガシラカウモリ  
(雲南省, 四川省, 湖北省, 浙江省, 福建省)

Rh. affinis himalyanus Anderson .....  
ヒマラヤキクガシラカウモリ  
(四川省, 雲南省西北部, 湖北省)

Rh. a. macrurus Anderson ...ナンシキクガシラカウモリ  
(福建省, 浙江省)

Rh. a. hainanus Allen.....ハイナンキクガシラカウモリ  
(海南島)

Rh. ferrum-equinum nippon Temm. ....  
キクガシラカウモリ  
(四川省, 山東省, 福建省, 日本本土)

Rh. f.-e.t. ragatus Hodgson .....  
ネパールキクガシラカウモリ  
(雲南省西北部, ネパール)

Rh. lepidus shortridgei Anderson .....

(香港, 厦門)

(二) 小蝙蝠亞目

(イ) 荒蝙蝠科

133. Lyroderma Peters, 1872.....アラカウモリ屬

L. lyra sinensis Anderson et Wroughton .....  
シナアラカウモリ

(福建省北部, 四川省雅州)

(ロ) 神樂蝙蝠科

134. Hipposideros Grby, 1831 .....カグラカウモリ屬

H. armiger Hodgson .....ヒマラヤカグラカウモリ  
(雲南省, 四川省西南部, 印度北部)

H. a. swinhoei Peters.....スキンホーカグラカウモリ  
(福建省, 浙江省, 江蘇省)

H. pratti Thomas.....プラツトカグラカウモリ  
(四川省, 福建省, 浙江省)

H. poutensis Allen .....ハイナンカグラカウモリ  
(海南島)

H. gentilis sinensis Anderson ...シナヒメカグラカウモリ  
(福建省, 海南島, 雲南省)

135. Triaenops Dobson, 1871 .....キーラーカグラカウモリ屬

T. wheeleri Osgood .....キーラーカグラカウモリ  
(貴州, 佛印の東京)

136. Coelops Blyth, 1848.....ヲナシカグラカウモリ屬



ハイナンハナビロキクガシラカウモリ  
(海南島)

Rh. rex Allen.....オホミミキクガシラカウモリ  
(四川省東南部)

(二) 挿尾蝙蝠科

138. Taphozous Geoffroy, 1818 .....クロヒゲサシヲカウモリ屬  
T. melanopogon Temm. .....クロヒゲサシヲカウモリ  
(雲南省南部, 佛印, マライ半島, 大スンダ諸島, 印度, フィリピン)

(ホ) 大耳蝙蝠科

139. Nyctinomus Geffroy, 1818.....オホミミカウモリ屬  
(Tadarida Rafinesque, 1814)

N. teniotis insignis Blyth .....キタオホミミカウモリ  
(福建省の厦門, 河北省の秦皇島)

N. t. coecata Thomas.....ウンナンオホミミカウモリ  
(雲南省西北部)

140. Chaerephon Dobson, 1874.....ハイナンオホミミカウモリ屬  
Ch. plicatus Buch. Hamilton ...ハイナンオホミミカウモリ  
(海南島, 印度, マライ半島)

(へ) 雛蝙蝠科

141. Myotis Kaup, 1829 .....ホホヒゲカウモリ屬  
M. chinensis Tomes.....ナンシホ、ヒゲカウモリ  
(浙江省, 福建省, 雲南省)

ショートリツヂキクガシラカウモリ  
(四川省西南部, ビルマ北東部)

Rh. cornutus pumilus Anderson.....  
オキナハコキクガシラカウモリ  
(福建省, 廣東省北部, 四川省, 琉球)

Rh. blithi szechwanus Anderson.....  
シセンヒメキクガシラカウモリ  
(四川省の重慶, 湖北省の宜昌)

Rh. b. parvus Allen.....ハイナンヒメキクガシラカウモリ  
(海南島)

Rh. b. calidus Allen.....フツケンヒメキクガシラカウモリ  
(福建省)

Rh. pearsonii Horsfield ...ピーアソンキクガシラカウモリ  
(雲南省, 四川省中部, 印度)

Rh. p. chinensis Anderson...フツケンキクガシラカウモリ  
(福建省北部)

Rh. episcopus Allen.....ハナクボキクガシラカウモリ  
(四川省東部)

Rh. e. coldwelli Allen...コールドエルキクガシラカウモリ  
(福建省)

Rh. lanosus Anderson.....ハナビロキクガシラカウモリ  
(福建省)

Rh. l. spurcus Allen.....



分布目録

- M. davidii Peters .....ダビツドカウモリ  
(海南島, 北京)
142. Rickettia Bianchi, 1916 .....オホアシカウモリ屬  
R. pilosus Peters.....リケツトオホアシカウモリ  
(福建省—山東省, 支那東海岸)
143. Pipistrellus Knap, 1829 .....イヘカウモリ屬  
P. abramus Temm. ....イヘカウモリ  
(四川省以東, 日本本土)
- P. tralatitius tramatus Thomas .....コイヘカウモリ  
(福建省延平)
- P. pulveratus Peters .....クロイヘカウモリ  
(福建省, 廣東省, 雲南省西北部)
144. I. Thomas, 1902 .....ヤマカウモリモトギ屬  
I. io Thomas .....ヤマカウモリモドキ  
(四川省南東部, 貴州, 南京)
145. Nyctalus Bowdich, 1825.....ヤマカウモリ屬  
N. aviator Thomas .....ヤマカウモリ  
(山東省, 滿洲, 朝鮮, 日本本土)
- N. noctula plancyi Gerbe .....プランシイヤマカウモリ  
(北京)
- N. n. veltinus Allen.....ナンシコヤマカウモリ  
(福建省, 浙江省, 四川省)
146. Eptesicus Rafinesque, 1820 .....ホリカハカウモリ屬

支那哺乳動物誌

- M. ch. luctuosus Allen .....チンキンホ、ヒゲカウモリ  
(四川省東部)
- M. myotis arcilla Thomas .....モウコホ、ヒゲカウモリ  
(察哈爾省, 陝西省南部)
- M. formosus rufoniger Tomes.....シナクロアカカウモリ  
(上海邊, 福建省)
- M. pequinus Thomas.....ペキンカウモリ  
(北京西方)
- M. frater Allen.....コアシホ、ヒゲカウモリ  
(福建省延平附近)
- M. fimbriatus Peters .....フトアシホ、ヒゲカウモリ  
(福建省の延平や厦門)
- M. daubentonii Kuhl .....ダウベントンカウモリ  
(北蒙, シベリア, 歡洲)
- M. mystacinus Kuhl .....ヨウロツパホ、ヒゲカウモリ  
(河北省, 福建省, 歐洲)
- M. m. przewalskii Bobrinski.....  
プルツエワルスキーホ、ヒゲカウモリ  
(山西省北部)
- M. laniger Peters.....ハイイロホ、ヒゲカウモリ  
(福建省, 海南島, 雲南省)
- M. muricolan oupinensis M.-E....シセンホ、ヒゲカウモリ  
(四川省中部, 雲南省西北部)



(海南島)

S. kuhlii Leach ..... キューリータシラダカウモリ

(雲南省南部—印度)

S. temminckii consobrinus Allen .....

チヤイロカシラダカカウモリ

(海南島)

151. Barbastella Gray, 1821 ..... チチブカウモリ屬

E. darjeli gensis Hodg on ..... チチブカウモリ

(雲南省, 四川省, 甘肅省, 日本本州, 印度)

152. Plecotus Geoffroy, 1818 ..... ウサギカウモリ屬

P. auritus L. .... キタウサギカウモリ

(甘肅省, 蒙古, 北歐洲, 樺太)

P. a. kozlov Bobrinski ..... コツロフウサギカウモリ

(青海省ザイダム東部, 中央ゴビ)

P. a. ariel Thomas ..... シセンウサギカウモリ

(西康省打箭爐高地)

153. Miniopterus Bonaparte ..... ユビナガカウモリ屬

M. schreibersi chinensis Thomas .....

シナユビナガカウモリ

(河北省—浙江省)

M. s. parvipes Allen ..... コアシユビナガカウモリ

(福建省, 海南島)

M. psillus Dobson ..... ヒメユビナガカウモリ

E. andersoni Dobson ..... アンダーソンホリカハカウモリ

(雲南省, 福建省, 浙江省)

E. serotinus pallens Miller ..... ホクシホリカハカウモリ

(甘肅省, 陝西省, 河北省, 山東省, 熱河)

E. alashanicus Bobrinski ..... アラシヤンホリカハカウモリ

(寧夏省アラシヤン)

E. nilsonii gobiensis Bobr. .... ゴビホリカハカウモリ

(ゴビ沙漠)

147. Vespertilio L., 1758 ..... ヒナカウモリ屬

V. murinus L. .... キタヒナカウモリ

(甘肅省, 滿洲, 朝鮮)

V. m. superans Thomas ..... ヒナカウモリ

(河北省, 山西省, 湖北省, 四川省, 日本本州)

148. Tylonycteris Peters, 1872 ..... イボアシカウモリ屬

T. pachypus fulvidus Blyth ..... シナイボアシカウモリ

(廣東省, マライ地方)

T. robustula Thomas ..... ウンナンイボアシカウモリ

(雲南省のビルマ境)

149. Scotomanes Dobson, 1875 ..... シロマダラカウモリ屬

S. ornatus sinensis Thomas ..... シナシロマダラカウモリ

(福建省西北部)

150. Scotophilus Leach, 1821 ..... カシラダカカウモリ屬

S. heathii insularis Allen ..... ハイナンカシラダカカウモリ



(海南島)

157. *Phatages Sundevall* ..... ミミナシセンザンカフ屬  
*Ph. crassicaudata Geffroy* ..... ミミナシセンザンカフ  
 (雲南省西隅, 印度)

鯨目 — 淡水海猪科

158. *Lipotes Miller, 1918* ..... マミヅイルカ屬  
*L. vexillifer Miller* ..... シナマミヅイルカ  
 (洞庭湖及其湖口附近)

(海南島, 印度)

154. *Kelivoula Gray, 1842* ..... ツツミミカウモリ屬  
*K. picta bellissima Thomas* ... クロアカツ、ミ、カウモリ  
 (海南島)  
*K. hardwickei delessa Miller* .....  
 フツケンツツミミカウモリ  
 (福建省)

155. *Murina Gray, 1842* ..... テングカウモリ屬  
*M. leucogaster M.-E.* ..... シロハラテングカウモリ  
 (四川省中部, 福建省西北部)  
*M. huttoni rubella Thomas* ..... クリイロテングカウモリ  
 (福建省西北部)  
*M. cyclotis Douson* ..... アカテングカウモリ  
 (海南島, 印度)  
*M. aurata M.-E.* ..... キイロテングカウモリ  
 (四川省中部)

有鱗目 — 穿山甲科

156. *Manis L., 1758* ..... センザンカフ屬  
*M. pentadactyla dalmani Sundevall* ... シナセンザンカフ  
 (揚子江流域以南, 安徽省—福建省, 雲南省, 舟山列島)  
 (四川省には見ぬといふ)  
*M. p. pusilla Allen* ..... ハイナンセンザンカフ



挿圖引用目録

1. オホシカ(駝鹿) [Karl Gevè 氏より]
2. ゴビ野生驢 [Allen 氏より]
3. ヤ           ク [Brehm 氏より]
4. パ       ン       ダ [Brehm 氏より]
5. ヒラツノシカ [Lydekker 氏より]
6. ホクシカモシカ [Beddard 氏より]
7. 大赤鹿の袋角 [Macewen 氏より]
8. 大赤鹿の袋角の組織先端近くの部, 軟骨細胞と血管とを見よ [Macewen 氏より]
9. 大赤鹿の袋角, 基部近くの部, 骨質とハーフェルス氏管とを見よ [Macewen 氏より]
10. マユジロテナガザル [Brehm 氏より]
11. イボハナザル [De winton 氏より]
12. ナンシチビヲザル [Milne-Edwards 氏より]
13. ノロマザル [Berridge 氏撮影]
14. ブルツェワルスキー野馬 ["Br. Mus Guide" より]
15. キ       ヤ       ン ["Br. Mus. Guid: より]
16. 盤           羊 [Beddard 氏より]
17. エセヒツジ [Berridge 氏撮影]
18. チベツトタキン [Lydekker 氏より]
19. クロカモシカ [Flower and Lydekker 氏より]
20. ホクシカモシカ [原圖]
21. 蒙古羚羊 [Lydekker 氏より]
22. 甲狀腺羚羊 [Brehm 氏より]

附  
挿  
圖  
引  
用  
目  
録



挿圖引用目録

47. クロテン [Brehm 氏より]
48. ムナジロテン [Brehm 氏より]
49. チベットノウサギ [De Win'on 氏より]
50. ハイイロナキウサギ [左]とラダツクナキウサギ [右] [Blan'ord 氏より]
51. コドラシ [Blanford 氏より]
52. アラシヤンハタリス [Buechner 氏より]
53. コシアカシマリス [森氏より]
54. 南露のトビネズミ [Brehm 氏より]
55. トウモウモグラネズミ [森氏より]
56. モウコハタネズミ第一下臼歯 [徳田氏より]
57. クラークハタネズミ [第二上臼歯] [Allen 氏より]
58. フオレストハタネズミ亞屬の一種 [第一下臼歯] [Hinton 氏より]
59. ネットカハタネズミ [森氏より]
60. ウサギヲハタネズミ屬一種 [第二下臼歯] [Hinton 氏より]
61. モグラハタネズミ屬一種 [第三上臼歯] [Allen 氏より]
62. ビロウドネズミ [青木氏より]
63. ナンシビロウドネズミ其他の第三上臼歯 [Allen 氏より]
64. シナビロウドネズミ [第三上臼歯] [Allen 氏より]
65. ヒメビロウドネズミ [第三上臼歯] [Allen 氏より]
66. (セキホウ)スナネズミ [森氏より]
67. (ホクマン)セスデキヌゲネズミ [森氏より]
68. ヒメケアシキヌゲネズミ [森氏より]
69. オニネズミ [青木氏より]

23. ホデソン羚羊 [Lydekker 氏より]
24. 麝香鹿 [Clater 氏より]
25. 牙 嚙 [“上野動物園グラフより”]
26. ナンシツノキバシカ [Sclater 氏より]
27. ノ 鹿 [Brehm 氏より]
28. 水 鹿 [Allen 氏より]
29. ションブルグシカ [Lydekker 氏より]
30. 四 不 像 [Lydekker 氏より]
31. クチジロシカ [Lydekker 氏より]
32. 山西大赤鹿 [Allen 氏より]
33. 熱 河 鹿 [森氏より]
34. 滿 洲 虎 [Künerth 氏圖]
35. ユ キ ヘ ウ [Brehm 氏より]
36. ウ ン ベ ウ [Brehm 氏より]
37. ウンナンヤマネコ [Blanford 氏より]
38. モウコヤマネコ [Brehm 氏より]
39. オホヤマネコ [Bratz 氏より]
40. 支那麝香猫 [Allen 氏より]
41. 海南麝香猫 [“Animals at Zoo” より]
42. ハクビシン [Brehm 氏より]
43. カニクヒマングース [Blanford 氏より]
44. オホバンダ [“Natural Histoy” より]
45. イタチアナグマ屬 [印度の種] [Blanford 氏より]
46. ナンシキエリテン [Blanford 氏より]



- 70. アラシヤンオホミミハリネズミ [Allen 氏より]
- 71. ミヅカキカハネズミ [Flowers and Lydekkeran 氏より]
- 72. アラカウモリ屬一種 [Blanford 氏より]
- 73. ヒマラヤカグラカウモリ [Allen 氏より]
- 74. キーラーカグラカウモリ [Blanford 氏より]
- 75. クロヒゲサシヲカウモリ [Blanford 氏より]
- 76. オホミミカウモリ屬一種 [Blanford 氏より]
- 77. センザンカフ [堀川氏より]

昭和十九年五月十日 初版印刷  
 昭和十九年五月十五日 初版發行

(二千部)

本見本

著作権所有

◎ 定價 參圓  
 特別行爲稅 貳拾八錢  
 相當額 貳拾八錢  
 合計參圓貳拾八錢

出版會承認 い 420452

發售所	發行所	配給元	印刷者	發行者	著作者
育英出版株式會社	東京都神田區駿河臺三ノ一 目黒書店 日本出版會 會員番號 一三四〇一二 電話神田一(五八・一〇五九) 振替口座東京二八〇九	日本出版配給株式會社	正木正家	東京都神田區駿河臺三ノ一 目黒四郎 東京都豊島區高田 町一ノ三五七	大陸 叢書 支那哺乳動物誌 阿部余四男

ニオン社印刷所 (東々 1842)

規格B6判



大陸叢書

石井壽夫著

孫文思想の研究

規格判B6 三一〇頁  
定價二圓八十錢 送二十錢

新中國の父と仰がれる孫文の思想を究明し盡くせるもので、民主、民権、民生の三民主義を縦横に剔抉すると共に孫文の對日觀を明らかにす。

廣島文理大教授 鴛淵 一著

滿洲碑記考

規格判B6 二〇〇頁  
定價一圓八十錢 送二十錢

本書は滿洲各地に散在するあらゆる墓碑を著者がその鋭い史眼を通じ、實地に踏査究明し、竝に清初滿民族の文化を顯示せる特異な好著。

廣島高師教授 丸山 學著

大陸の思想戰

規格判B6 三〇〇頁  
定價二圓五十錢 送二十錢

大陸の思想戰に挺身せる著者が、その熾烈なる思想戰の現狀を明かにすると共に大陸に於ける教育建設の狀況を詳述す、戦ふ一億に捧ぐ

廣島文理大助教授 佐藤 清太著

北京 — 轉換する古都 —

規格判B6 三五〇頁  
定價三圓 送二十錢

學都としての北京がこの歴史的轉換期に際し、如何なる横顔を見せつゝあるかを流麗な筆致をもつてまざく／＼と描き盡くせる香氣溢るゝ名著。



777  
58

19年 7月 11日

111

0	0								







青價 ¥3.28

目黒書店發行

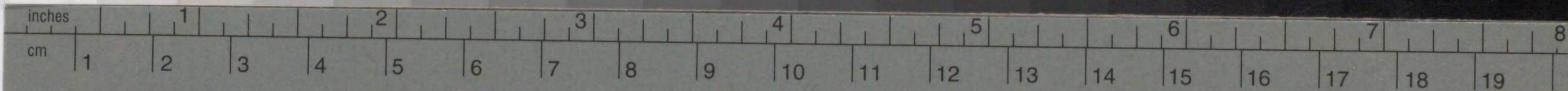


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

